REARVISION

ALPINE

取付説明書

アルパイン リアビジョン専用取付キット

車 種	年 式	型 式
セレナ （サンルーフ無車用）	H22/11 ～ H28/8	C26・FC26 NC26・FNC26 HC26・HFC26
セレナ （サンルーフ付車用）	H22/11 ～ H25/12	C26・FC26 NC26・FNC26 HC26・HFC26

平成30年9月現在

ここでの説明は、固定用ブラケットの装着方法に限らせていただきます。モニターケーブルや電源の配線方法・場所についての説明は、アルパイン製 10.1 型リアビジョン（RSA10S-L シリーズ /RSH10-L シリーズ）の取扱説明書をご参照ください。

1 部品番号

KTD-N3300K-SE 標準ルーフ用

KTD-N3301K-SE パノラミックルーフ用

目次

1 部品番号 …… 1
2 構成部品 …… 2
3 必要工具 …… 3
4 取り付けにあたっての注意事項 …… 3
5 結線図 …… 4
6 取付方法 標準ルーフの場合 …… 5
1. ヘッドライニングの加工 …… 5
2. クッションテープ（75mm×250mm）のカット寸法 …… 7
3. 車両部品の取り外し …… 8
4. DINケーブルの配線 …… 9
5. ブラケットの取り付け …… 11
6. 後席モニター本体の取り付け …… 15
6 取付方法 パノラミックルーフの場合 …… 16
1. ヘッドライニングの加工 …… 16
2. クッションテープ（75mm×250mm）のカット寸法 …… 18
3. 車両部品の取り外し …… 19
4. DINケーブルの配線 …… 20
5. ブラケットの取り付け …… 22
6. 後席モニター本体の取り付け …… 24
7 取り付け後の注意事項 …… 25
8 後席モニター本体の動作確認 …… 25

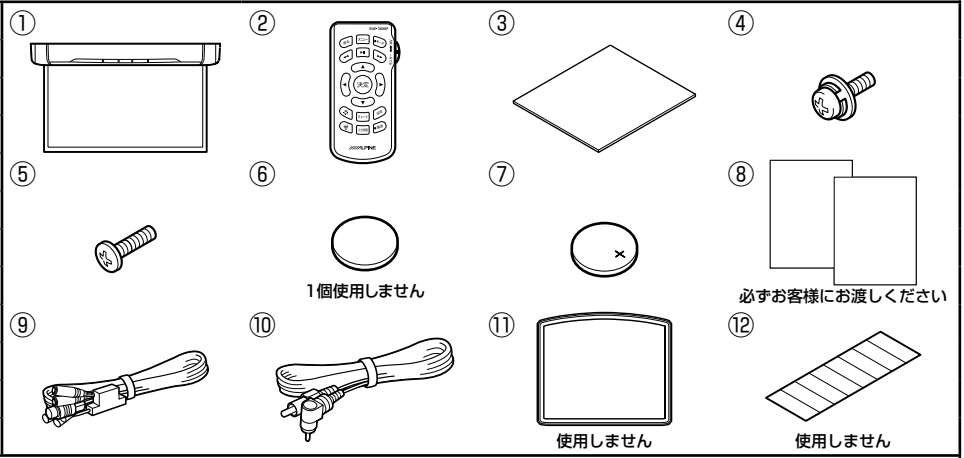
アルパイン マーケティング株式会社

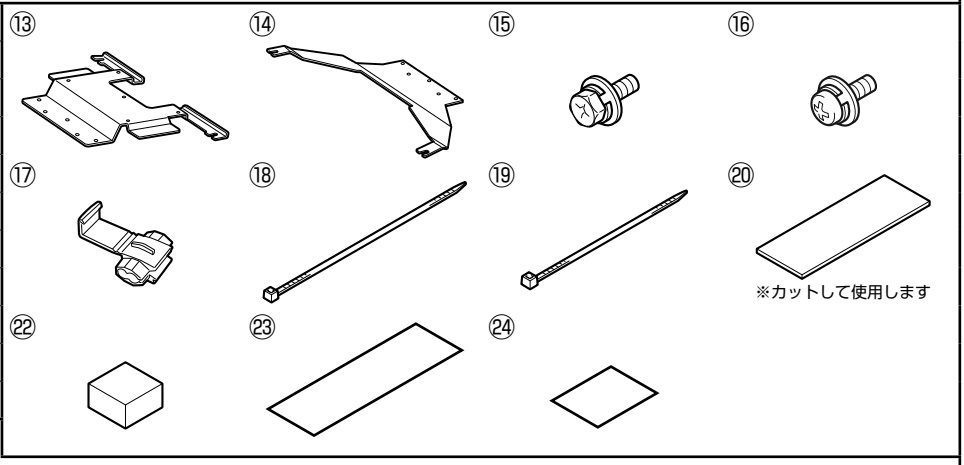
2 構成部品　（取付作業前に構成部品の確認を必ず行ってください。）

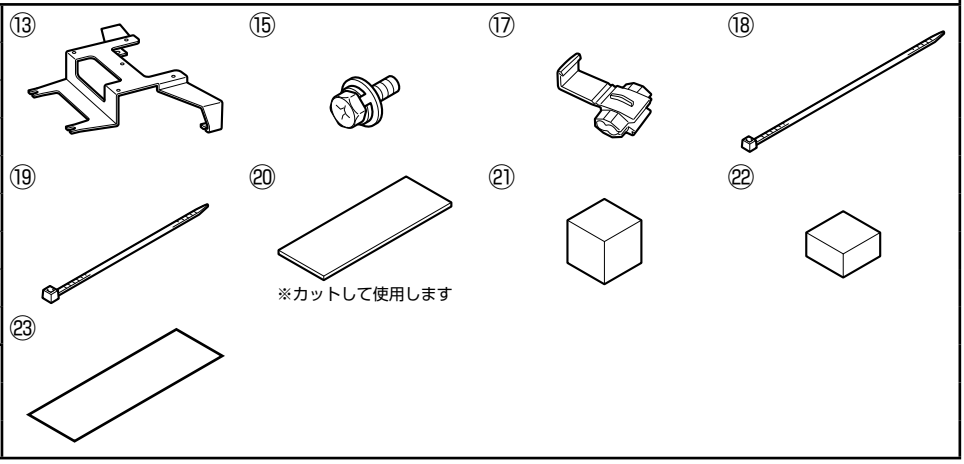
■モニターキット　標準ルーフ用　（KTD-N3300K-SE）
　　パノラミックルーフ用　（KTD-N3301K-SE）

No.	部品名称	数量
標準ルーフ / パノラミックルーフ共通		
①	後席モニター本体	1
②	リモコン	1
③	クッション（DINケーブルジョイント部用）	1
④	なべ小ねじ(ワッシャー付)(M4×16)	4
⑤	バインド小ねじ(ワッシャー無し)(M4×15)	1
⑥	ゴムキャップ	6
⑦	ボタン電池（リモコン用）	1
⑧	取扱説明書、補足説明書	各1
⑨	DINケーブル	1
⑩	AVケーブル	1
⑪	シリコンスペーサー［使用しません］	1
⑫	両面テープ［使用しません］	1
標準ルーフ用の場合		
⑬	ブラケットA	1
⑭	ブラケットB	1
⑮	小ねじ（M6×15）	4
⑯	なべ小ねじ（M5×10）	5
⑰	エレクトロタップ（赤）	1
⑱	ハーネスバンド（200mm）	2
⑲	ハーネスバンド（150mm）	10
⑳	クッションテープ（75×250）	3
㉒	スペーサークッション（小）	2
㉓	型紙A（共通）	1
㉔	型紙B（標準ルーフ用）	1
パノラミックルーフ用の場合		
⑬	ブラケット	1
⑮	小ねじ（M6×15）	2
⑰	エレクトロタップ（赤）	1
⑱	ハーネスバンド（200mm）	2
⑲	ハーネスバンド（150mm）	10
⑳	クッションテープ（75×250）	3
㉑	スペーサークッション（大）	4
㉒	スペーサークッション（小）	2
㉓	型紙A（共通）	1

部品図







3 必要工具

ドライバー（⊕、⊖）、クリップクランプツール、ソケットレンチ（10mm、14mm）、板ラチェット（10mm）、トルクレンチ、トルクスレンチ（T20）、プライヤー、ニッパー、ハサミ、カッターナイフ、直尺、巻尺、針金、セロテープ、マスキングテープ、養生テープ、布粘着テープ、絶縁テープ、保護メガネ、保護手袋（軍手）など

4 取り付けにあたっての注意事項

安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

●ご使用の前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

●この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。 禁止

ねじなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。
感電・ケガの原因になります。

本製品には指定の液晶 TV 以外のものを装着したり、本来の目的以外のご使用はおやめください。
事故・破損の原因になります。 禁止

音がでない、映像が映らない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときは、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。 強制 禁止

コード類は運転の妨げにならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。

本製品に装着された液晶 TV にぶら下がったりしないでください。事故・破損の原因になります。 禁止

急発進・急停車等での事故防止のため、後部座席に乗車する際は必ずシートベルトを着用してください。事故・ケガの原因になります。 強制 禁止

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。
画面を見る場合や、操作を行う場合は、安全な場所に停車してください。 強制 禁止

⚠ 注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。
火災・故障の原因になります。 禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起物に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

付属品を指定通りに使い、しっかりと固定してください。事故・故障の原因になります。 禁止

しばらく走行したのち各部のねじ等の緩みがないか確認してください。事故・ケガ・故障の原因になります。

車以外には使わないでください。
故障・感電・ケガの原因になります。 禁止

水のかかるところ、湿気やほこりの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。 禁止

この商品はルーフ内装部に直接装着し、ぶれ防止に内装に密着させて固定する仕様になっています。取り外した後、内装に装着跡が残ることがあります。

取り付け、配線には、専門技術と経験が必要になります。お買い上げ店に依頼頂く事をお勧め致します。

説明書に従って、加工を行ってください。
説明書の指示を守らなかったことによる車両部品の破損・ケガ等に対して、当社は責任を負いかねます。

電動ドライバーの使用を禁止します。

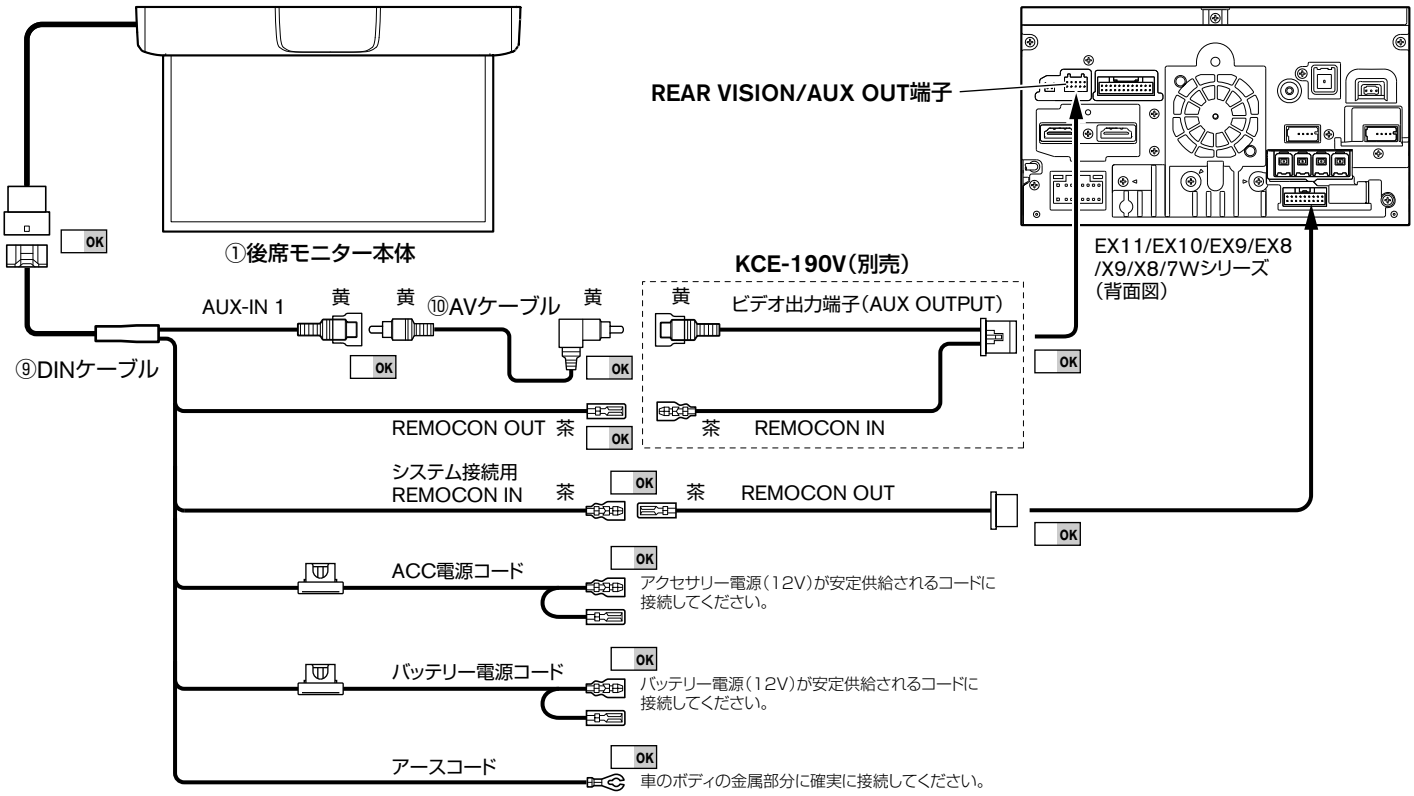
電動ドライバーは力の加減が難しく、ねじ穴を破損させるだけでなく、車を破損させる恐れがあります。 禁止

5 結線図

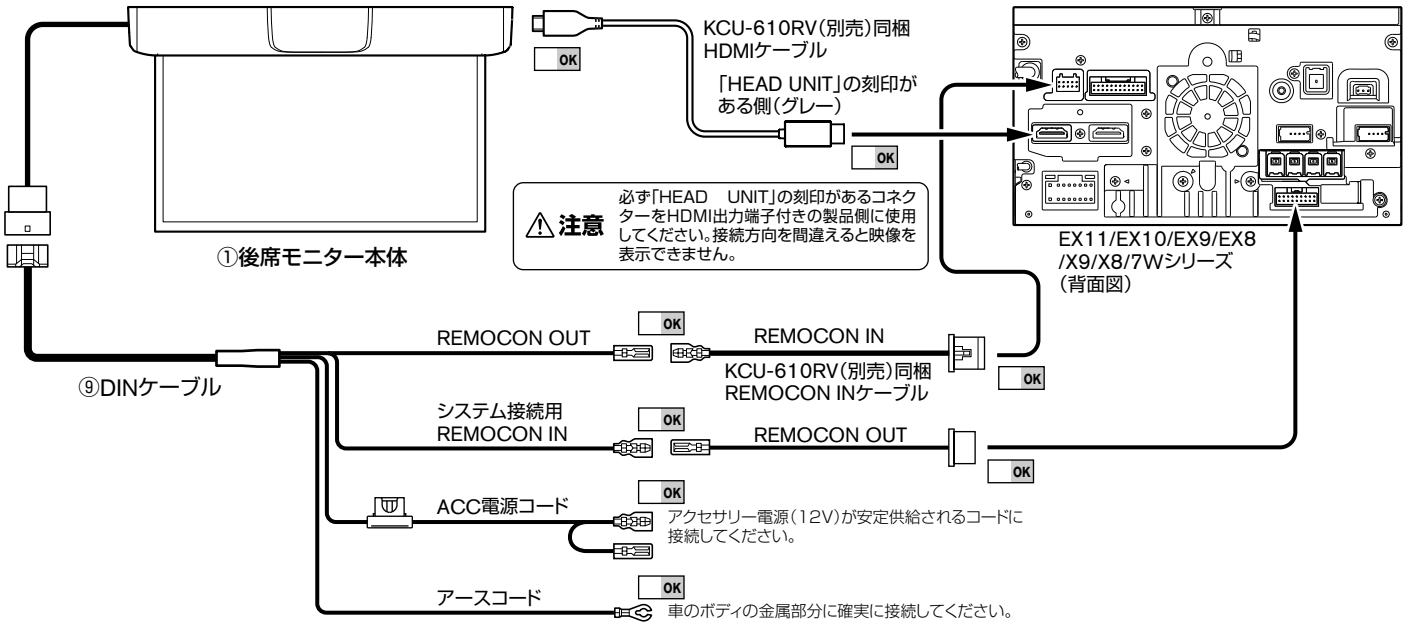
（誤接続を防ぐために、接続するごとに OK に ✓ 点をつけてください）

⚠注意	●コネクターは、確実に接続してください。また、外れないように 接続部に絶縁テープ等を巻いてください。 ●接続しないコネクター類は、ぶらつかないように絶縁テープ等 で他のハーネス類に巻付けてください。

＜ RSA10S-L シリーズ＞



＜ RSH10-L シリーズ＞



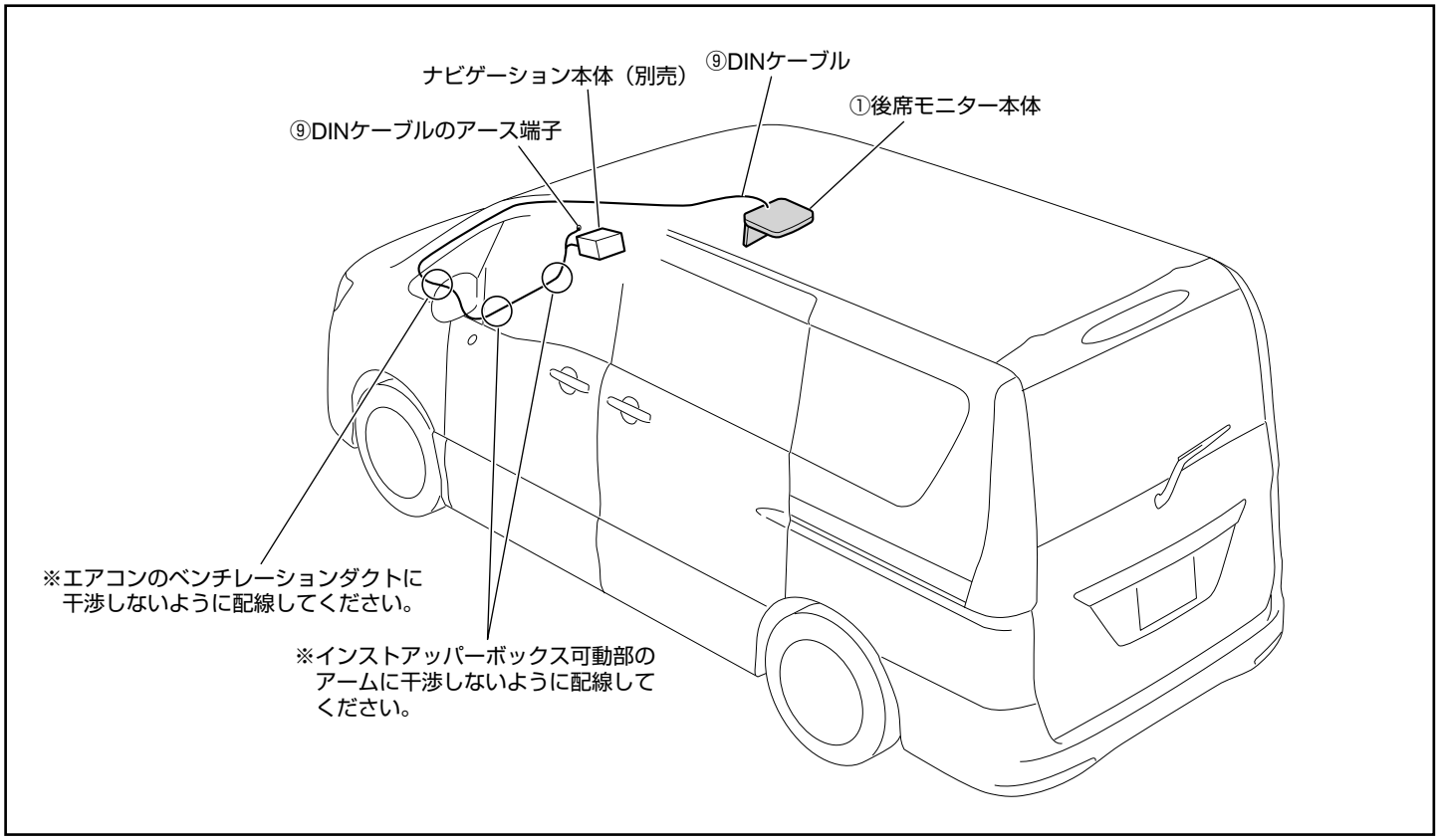
■ Memo ※アルパイン製リアビジョンリンク対応ナビゲーションとの接続時

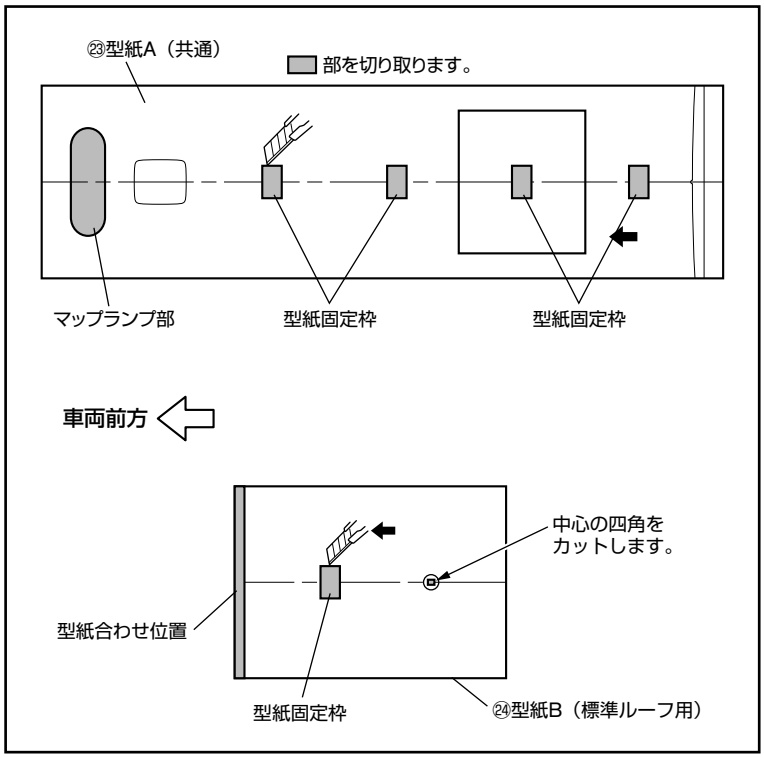
- ナビゲーション側の地図画面や操作画面、AVソースの画像をリアビジョンに表示できます。
- 「ダブルゾーン」機能使用時は、ナビゲーション側のAVソースに関わらず、DVD·地上デジタルTVをリアビジョンへ表示させることができます。（ナビゲーション側からの映像出力方法については、ナビゲーション側の取扱説明書をあわせて参照してください）
- リアビジョン付属のリモコンで後部座席からナビゲーションのAVソースを操作することができます。

※対応ナビゲーションは2018年9月時点の情報です。詳しくはアルパインホームページでご確認ください。

6 取付方法　標準ルーフの場合

※パノラミックルーフ車に取り付ける場合は、P16 を参照してください。





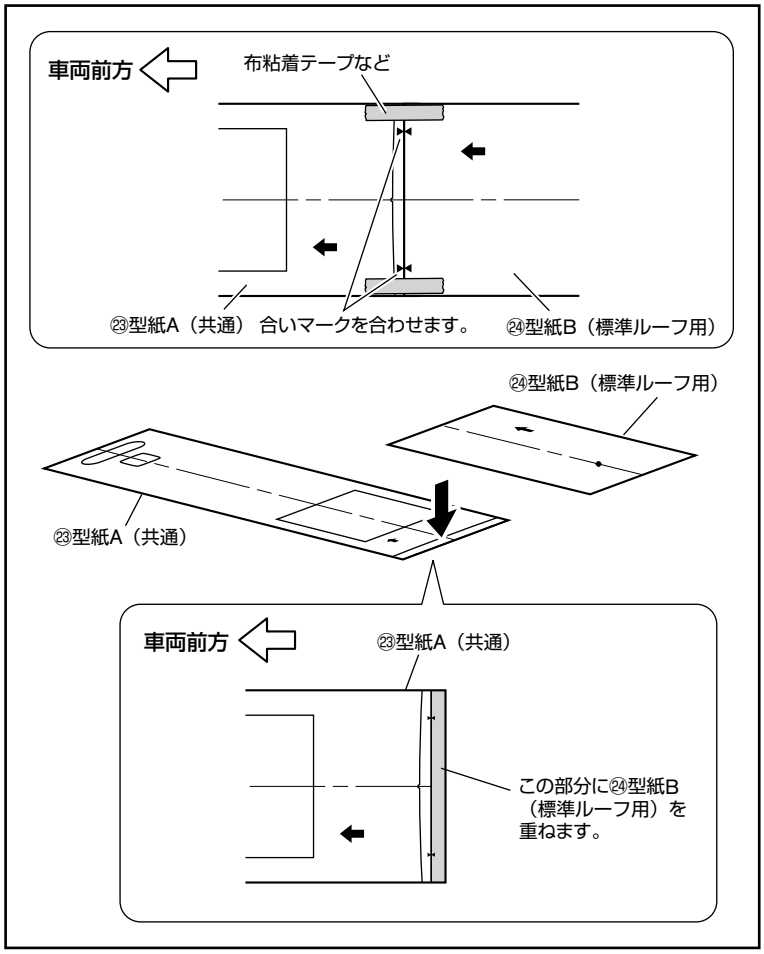
1. ヘッドライニングの加工

(1) ヘッドライニングへ貼り付ける前に、㉓型紙A（共通）の ■ マップランプ部と、■ 型紙固定枠を切り取ります。

⚠注意	保護手袋を着用し、刃物の取扱いに注意してください。

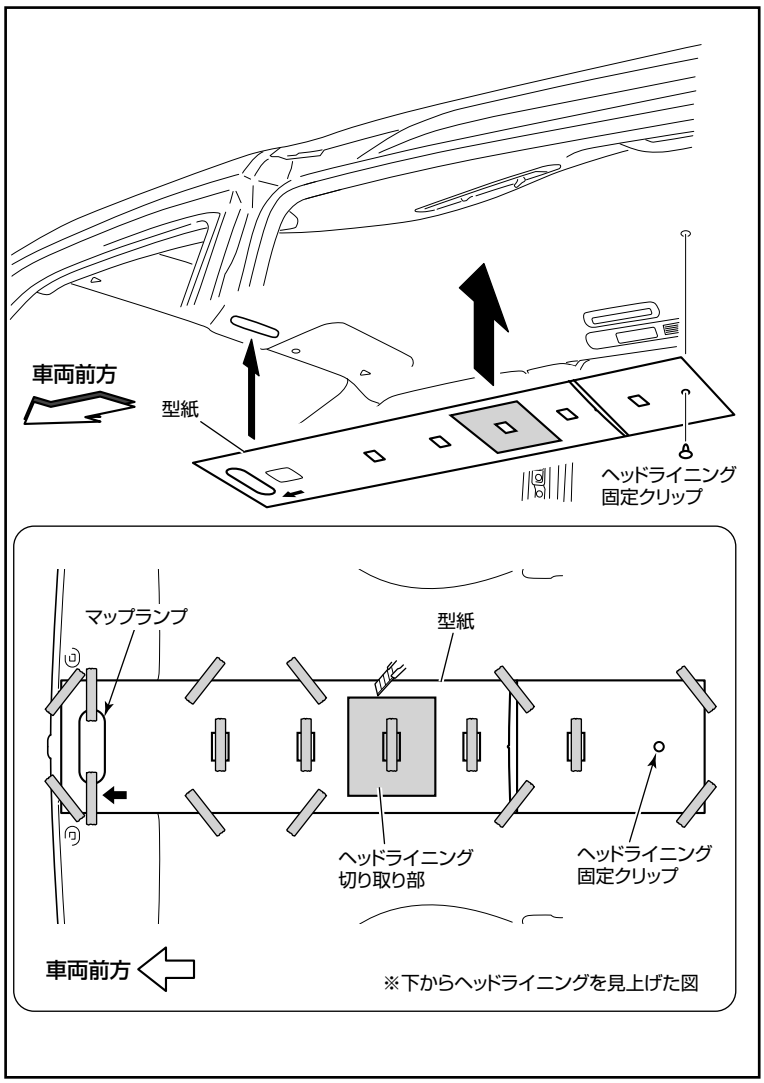
(2) ㉔型紙B（標準ルーフ用）の合わせ位置と、■ 型紙固定枠を切り取ります。

⚠注意	保護手袋を着用し、刃物の取扱いに注意してください。



(3) ㉓型紙A（共通）と㉔型紙B（標準ルーフ用）を合わせ位置で重ね、テープで固定します。

⚠注意	型紙の前後を間違えないようにしてください。



(4) ヘッドライニング中央のヘッドライニング固定クリップを取り外します。

(5) 布粘着テープなどで型紙をヘッドライニングに貼り付けます。

⚠注意	●型紙の前後を間違えないようにしてください。 ●布粘着テープ等の粘着力が高いと布粘着テープ等を剥がす際、ヘッドライニングが毛羽立ってしまう場合がありますので、注意してください。

(6) ヘッドライニング固定クリップを利用して、型紙を固定します。

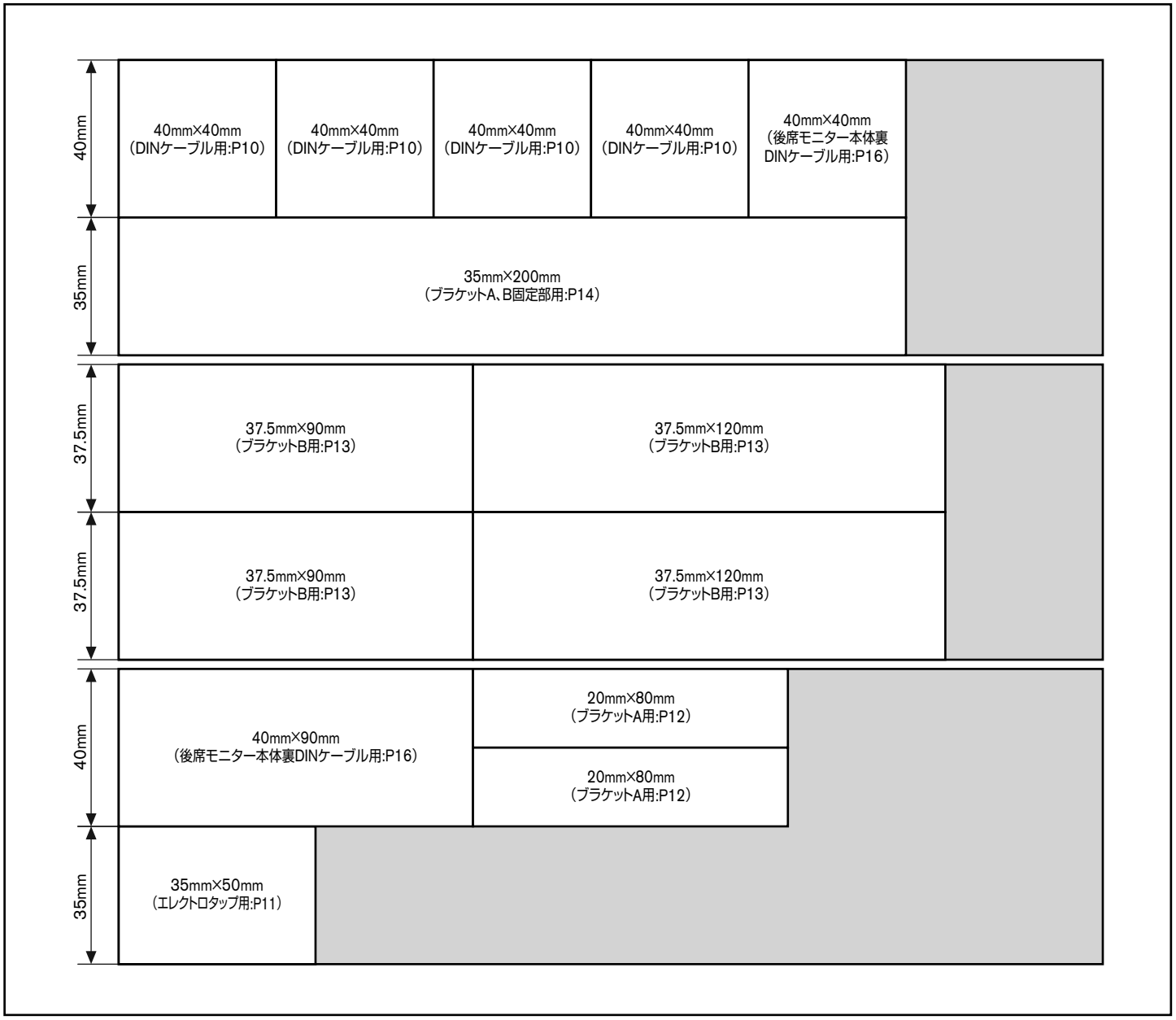
⚠注意	ヘッドライニング固定クリップとマップランプの位置がずれていると、後席モニター本体を取り付けた際、ヘッドライニングの加工穴が隠れなくなる場合がありますので、車両の中心がずれないよう注意してください。

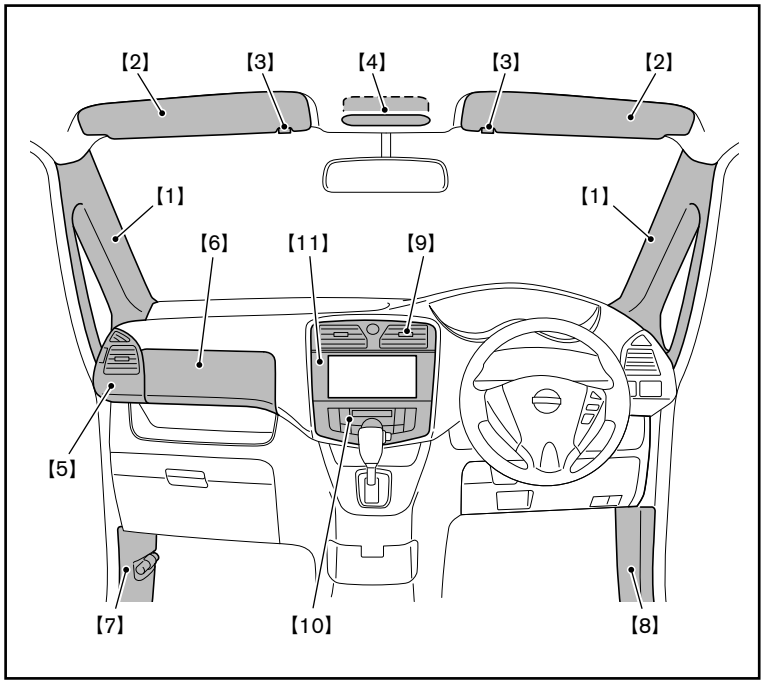
(7) 型紙の切り取り部にしたがって、■部分のヘッドライニングをカッターで切り取ります。

⚠注意	●保護手袋を着用し、刃物の取扱いに注意してください。 ●ヘッドライニング内の配線に傷をつけないよう注意してください。 ●カッターの刃を必要以上（約25mm）出さずに作業をおこなってください。 25mm以内

2. クッションテープ（75mm×250mm）のカット寸法

（1） ⑳クッションテープ（75mm×250mm）を下図にしたがってをカットします。



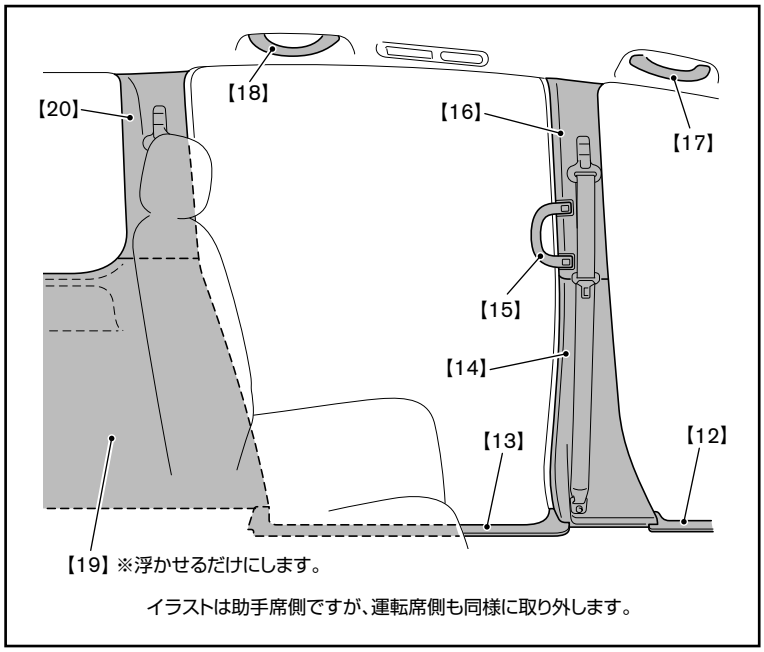


3. 車両部品の取り外し

(1) 左図を参照して内装部品（　　部）を外します。
番号順に取り外してください。

⚠注意	●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。 ●ヘッドライニングにしわが出来ないように注意してください。 ●ねじの紛失にご注意ください。

Memo	各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



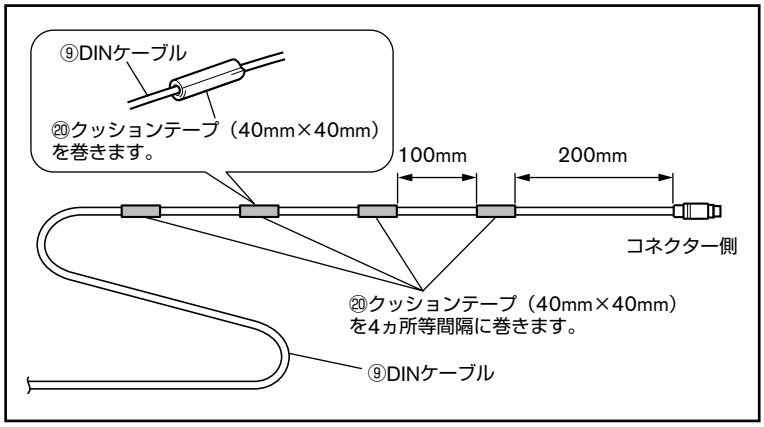
イラストは助手席側ですが、運転席側も同様に取り外します。

⚠注意	【16】センターピラーアッパーガーニッシュ上部のフックが破損した場合は、必ず新品を別途お買い求めのうえ、交換してください。 ・カーテンエアバック無車用 純正部品番号：**B8088-1VA00**（別売） **B8088-1VA01**（別売） ・カーテンエアバック付車用 純正部品番号：**B8088-1VA10**（別売） **B8088-1VA11**（別売）

Memo	ブラケットの取り付け作業スペースを確保するため、助手席側と運転席側のパネルを取り外してください。

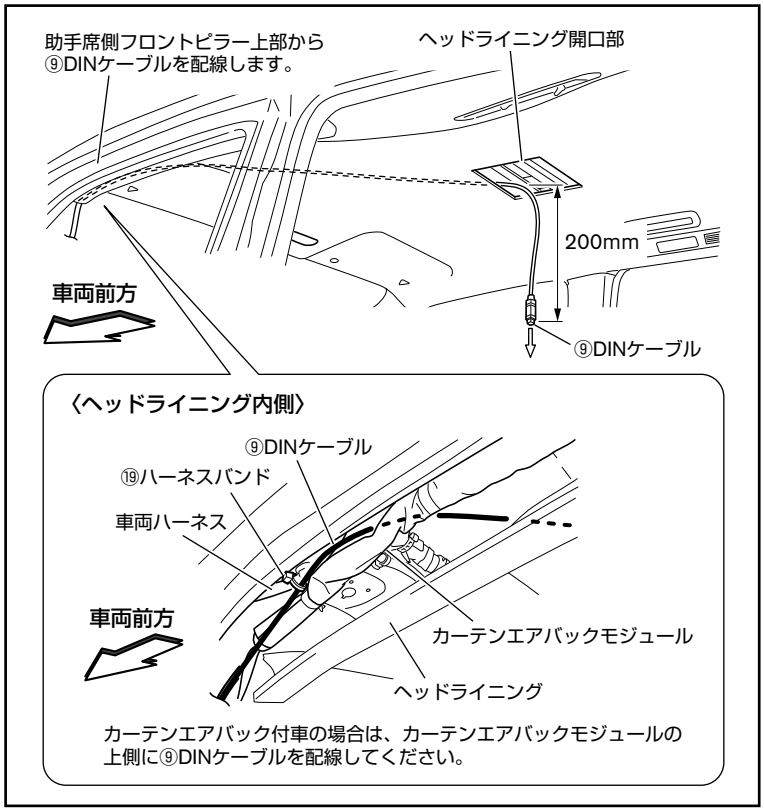
⚠注意	**【16】**センターピラーアッパーガーニッシュは再使用不可部品のため、復元時には必ず新品に交換してください。その際は、アタッチメントキット（別売：**B8088-1VA00/B8088-1VA01/B8088-1VA10/B8088-1VA11**）をご使用ください。

Memo	ブラケットの取り付け作業スペースを確保するため、助手席側と運転席側のパネルを取り外してください。



4. DINケーブルの配線

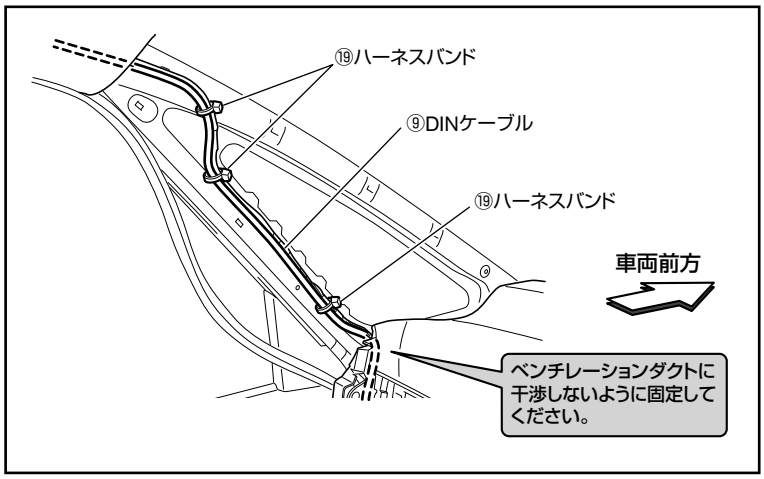
(1) 異音防止のため、⑨DINケーブルに⑳クッションテープ（40mm×40mm）を巻きます。



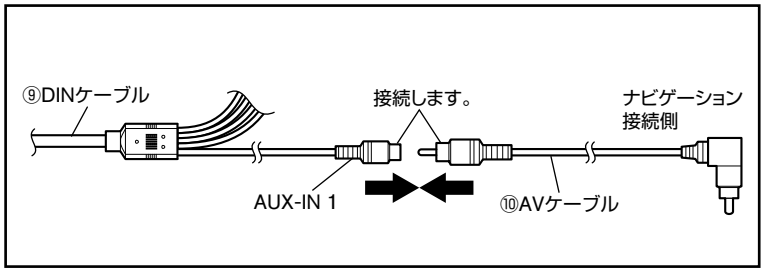
(2) 助手席側フロントピラー上部からヘッドライニングの裏へ通し、ヘッドライニングの開口部まで仮配線します。

⚠注意	●カーテンエアバック付車の場合は、必ずカーテンエアバックモジュールの上側に⑨DINケーブルを配線してください。 ●針金等を使用して配索する際、車両のハーネス、ホース類を損傷させないように注意してください。

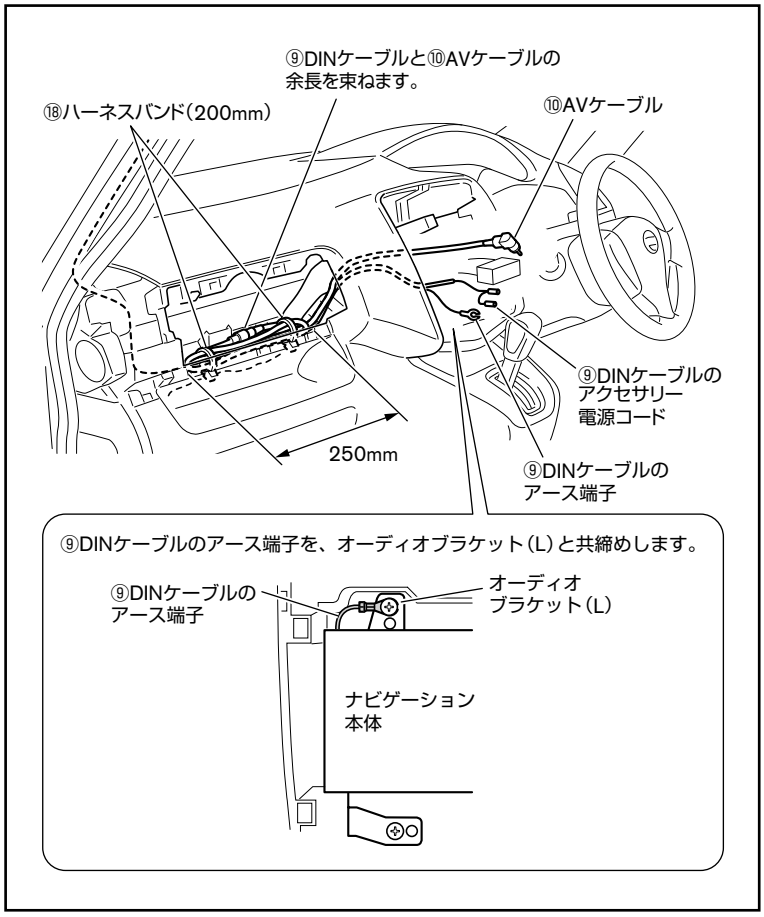
Memo	配線通しや針金などを使用して、助手席側フロントピラー上部からヘッドライニングの開口部へ⑨DINケーブルを引き出してください。



(3) 助手席側フロントピラーの車両ハーネスに⑨DINケーブルを⑲ハーネスバンドで固定し、フロントピラー下のすき間へ配線します。



(4) ⑨DINケーブルのAUX-IN 1と⑩AVケーブルを接続し、抜け防止のため絶縁テープを巻きます。



(5) ⑨DINケーブルと⑩AVケーブルを、インストアッパーボックス裏の車両ハーネスに沿ってオーディオ取付部へ配線します。

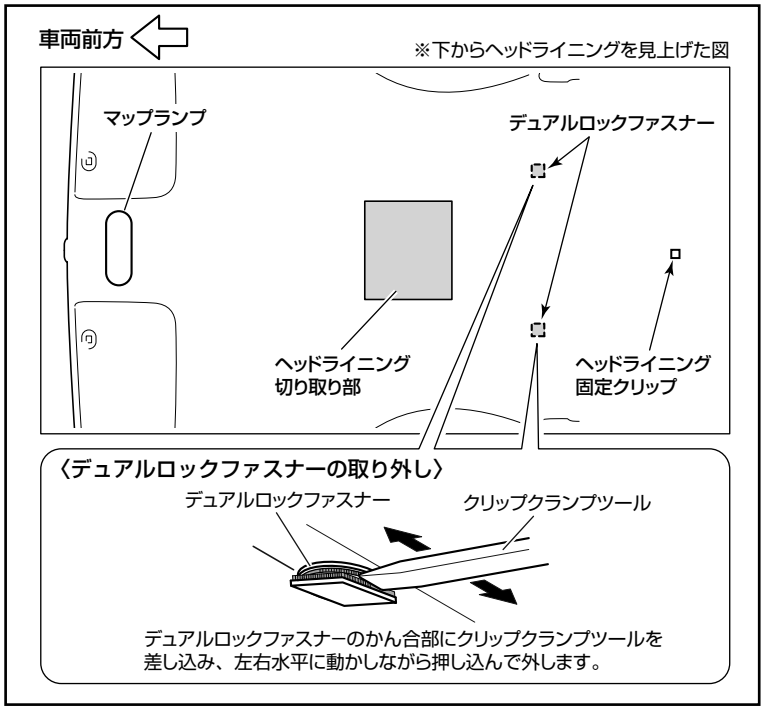
(6) ⑨DINケーブルと⑩AVケーブルの余長を図の位置に束ねて、車両ハーネスに⑱ハーネスバンド（200mm）で固定します。

⚠注意	インストアッパーボックスに干渉しない位置に固定してください。

(7) ⑨DINケーブルのアース端子を、ナビゲーション復元時にオーディオブラケット(L)と共締めします。

⚠注意	アース端子の配線をはさみ込まないよう注意してください。

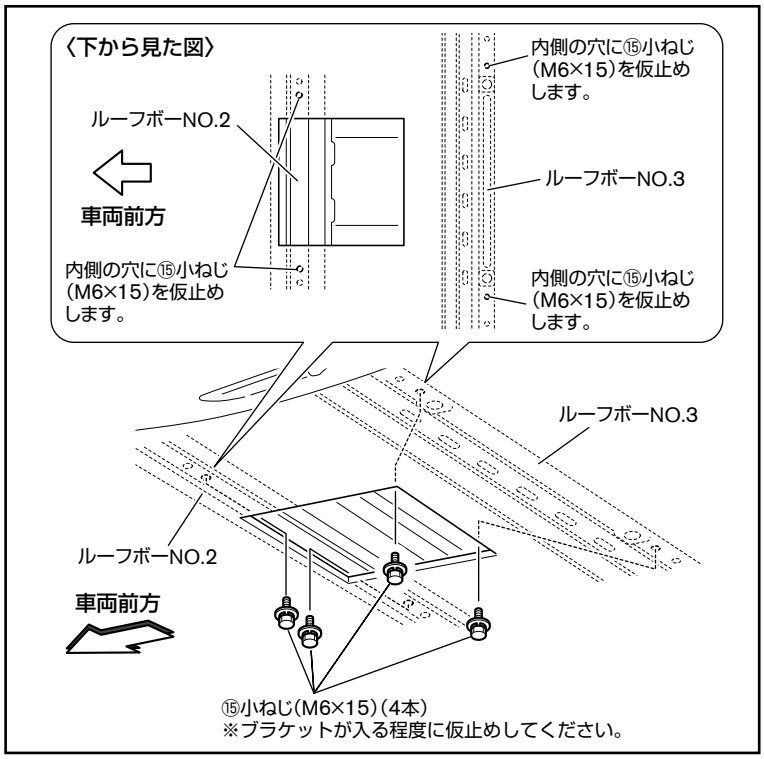
Memo	●接続後、テスターにてバッテリーを外したまま導通を確認してください。 ●配線は接続するシステムによって異なります。詳細は各取扱説明書「システムアップ例」を参照して配線してください。 **【RSA10S-Lシリーズ】・・・P22** **【RSH10-Lシリーズ】・・・P19**



5. ブラケットの取り付け

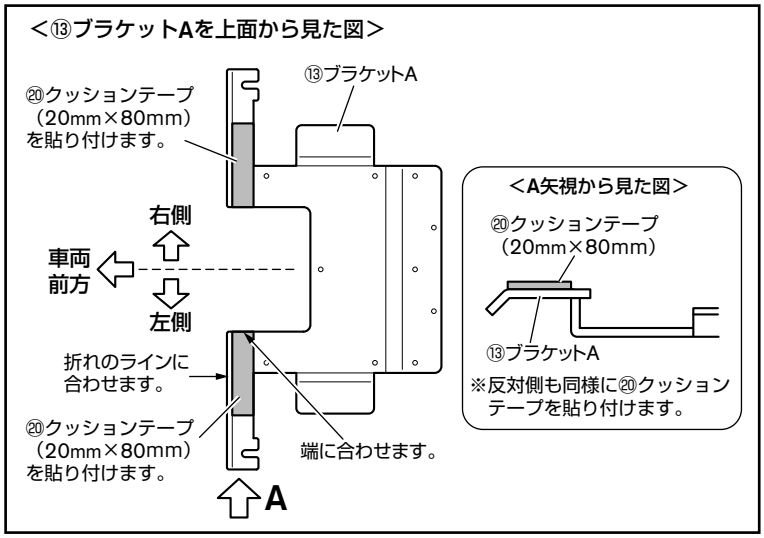
(1) 作業スペースを確保するため、ルーフに固定しているデュアルロックファスナーのかん合を外し、ヘッドライニングを下方に引き下げます。

⚠注意	デュアルロックファスナーのかん合を外すと、ヘッドライニングが一気に下がりますので折れ目（割れ等）が入らないように注意してください。

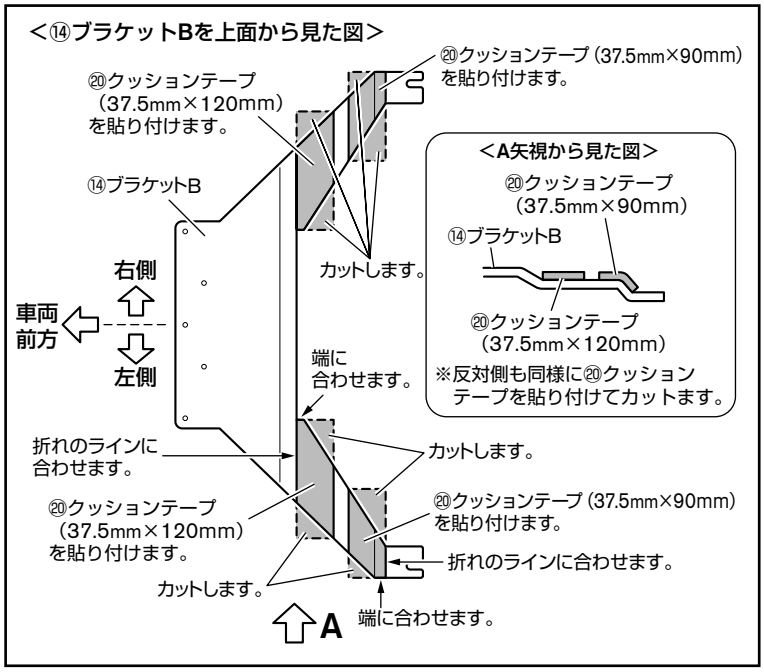


(2) ルーフボーNO.2、NO.3の図の位置に⑮小ねじ(M6×15)を仮止めします。

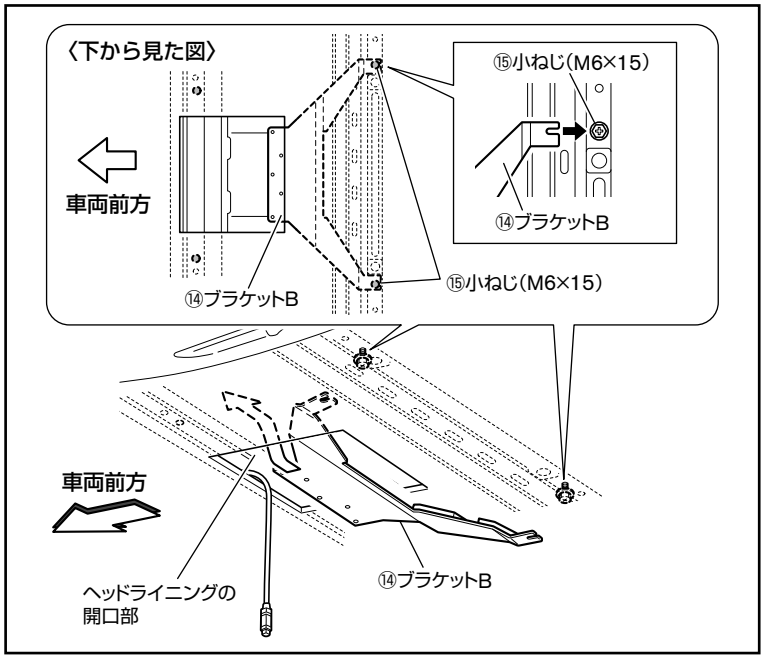
⚠注意	ヘッドライニングにしわが出来ないように注意してください。



(3) ⑬ブラケットAの上面に⑳クッションテープ(20mm×80mm)を貼り付けます。

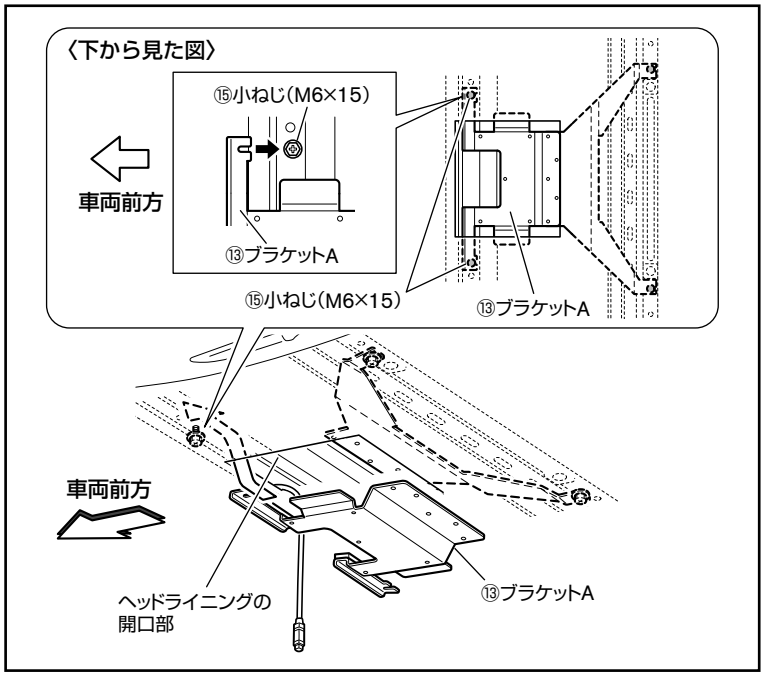


(4) ⑭ブラケットBの上面に⑳クッションテープ（37.5mm×90mm）と⑳クッションテープ（37.5mm×120mm）を貼り付け、はみ出たクッションテープをカットします。



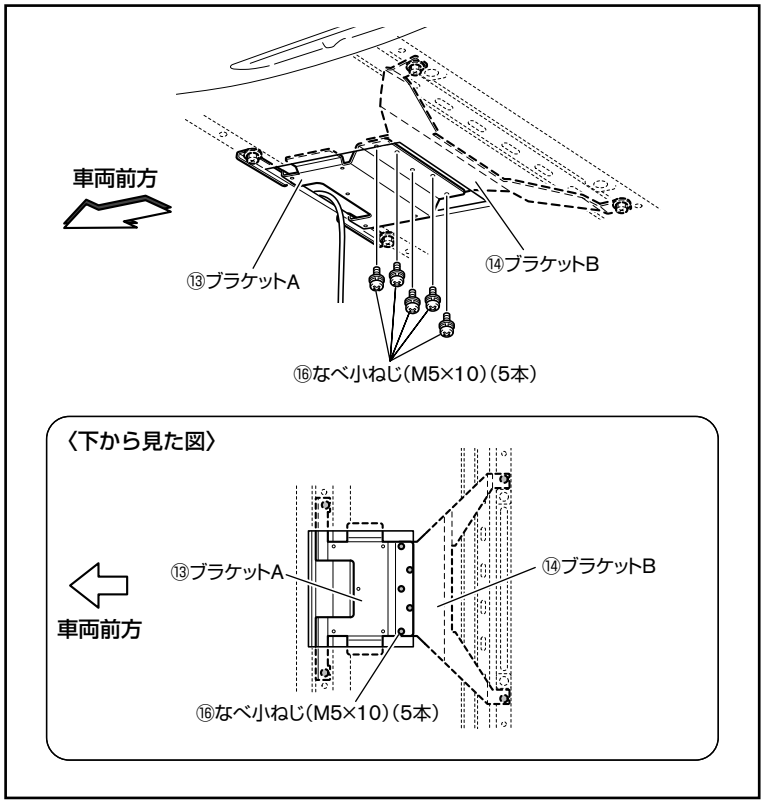
(5) ヘッドライニングの開口部から⑭ブラケットBを差し込み、仮止めした⑮小ねじ(M6×15)に引っかけます。

⚠注意	⑭ブラケットBを差し込む際は、ヘッドライニングにしわが出来ないように注意してください。

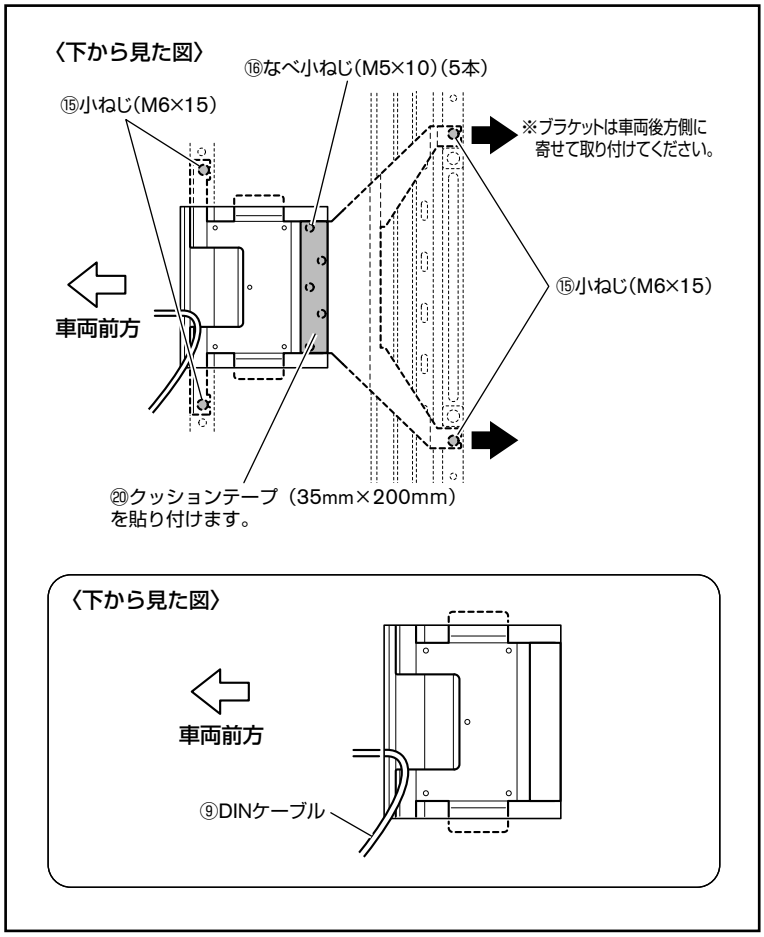


(6) ヘッドライニングの開口部から⑬ブラケットAを差し込み、仮止めした⑮小ねじ(M6×15)に引っかけます。

⚠注意	⑬ブラケットAを差し込む際は、ヘッドライニングにしわが出来ないように注意してください。

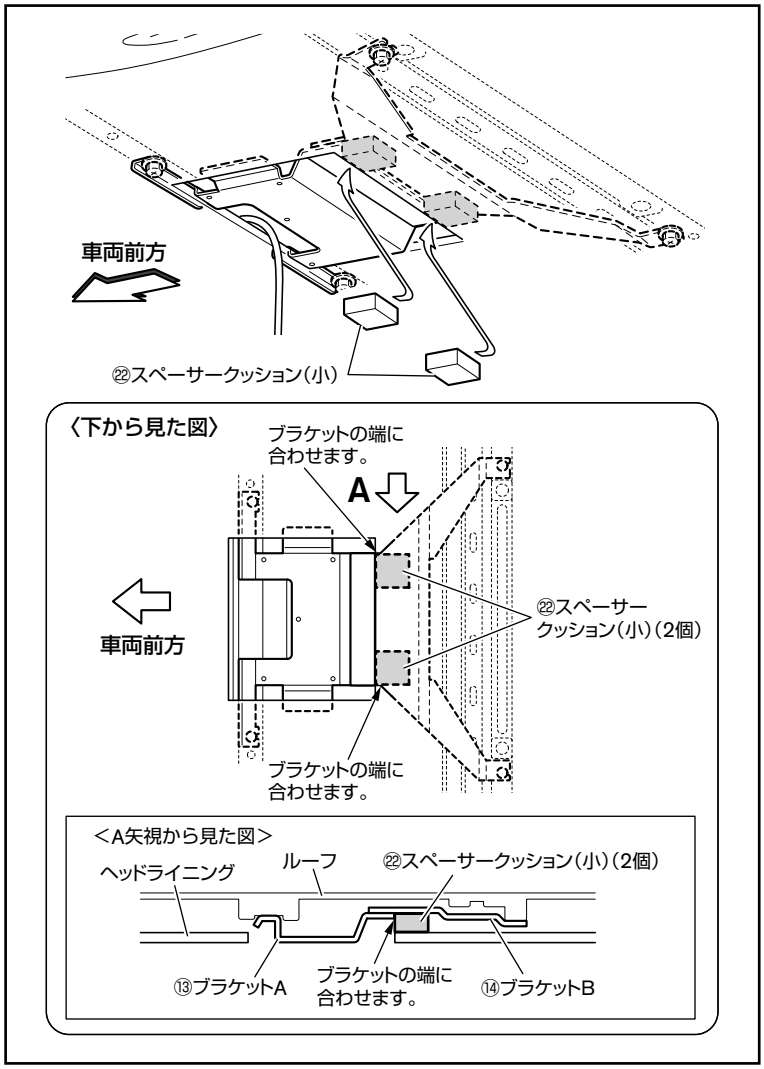


(7) ⑬ブラケットAと⑭ブラケットBを⑯なべ小ねじ(M5×10)で固定します。



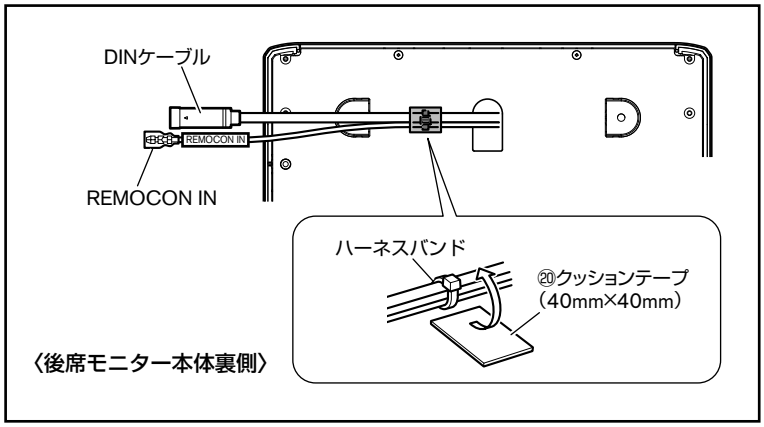
(8) 仮止めした⑮小ねじ(M6×15)を本締めし、⑯なべ小ねじ(M5×10)で固定した部分に⑳クッションテープ(35mm×200mm)を貼り付けます。ケーブル類は図の位置に通してください。

⚠注意	本締めする際、強く締めすぎるとルーフパネルが変形する恐れがあります。電動工具等を使用しないで、作業を行ってください。



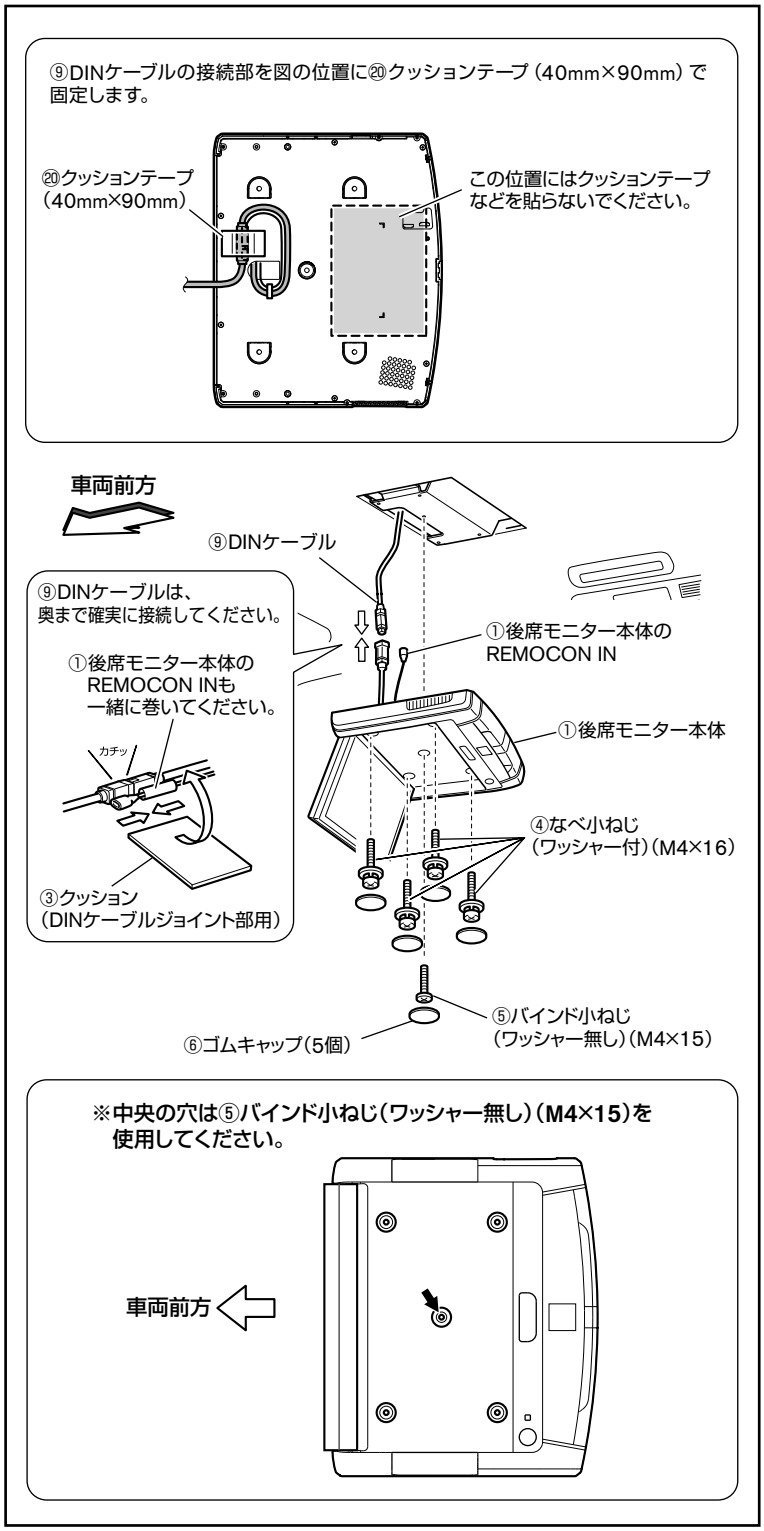
(9) ㉒スペーサークッション(小)の剥離紙をはがし、開口部からヘッドライニング内に差し込み、⑭ブラケットBに貼り付けます。

⚠注意	ヘッドライニングにしわが出来ないように注意してください。



6. 後席モニター本体の取り付け

(1) ①後席モニター本体のコードを固定しているハーネスバンド部に⑳クッションテープ（40mm×40mm）を巻きます。

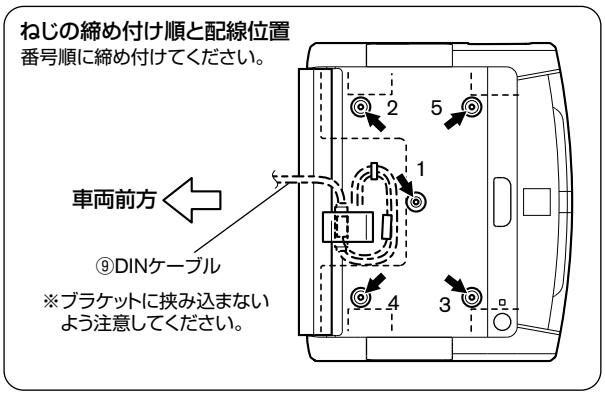


(2) ⑨DINケーブルを①後席モニター本体に接続し、接続部に③クッション（DINケーブルジョイント部用）を巻いて保護します。

(3) ⑨DINケーブルの接続部を①後席モニター本体の裏側に⑳クッションテープ（40mm×90mm）で固定します。

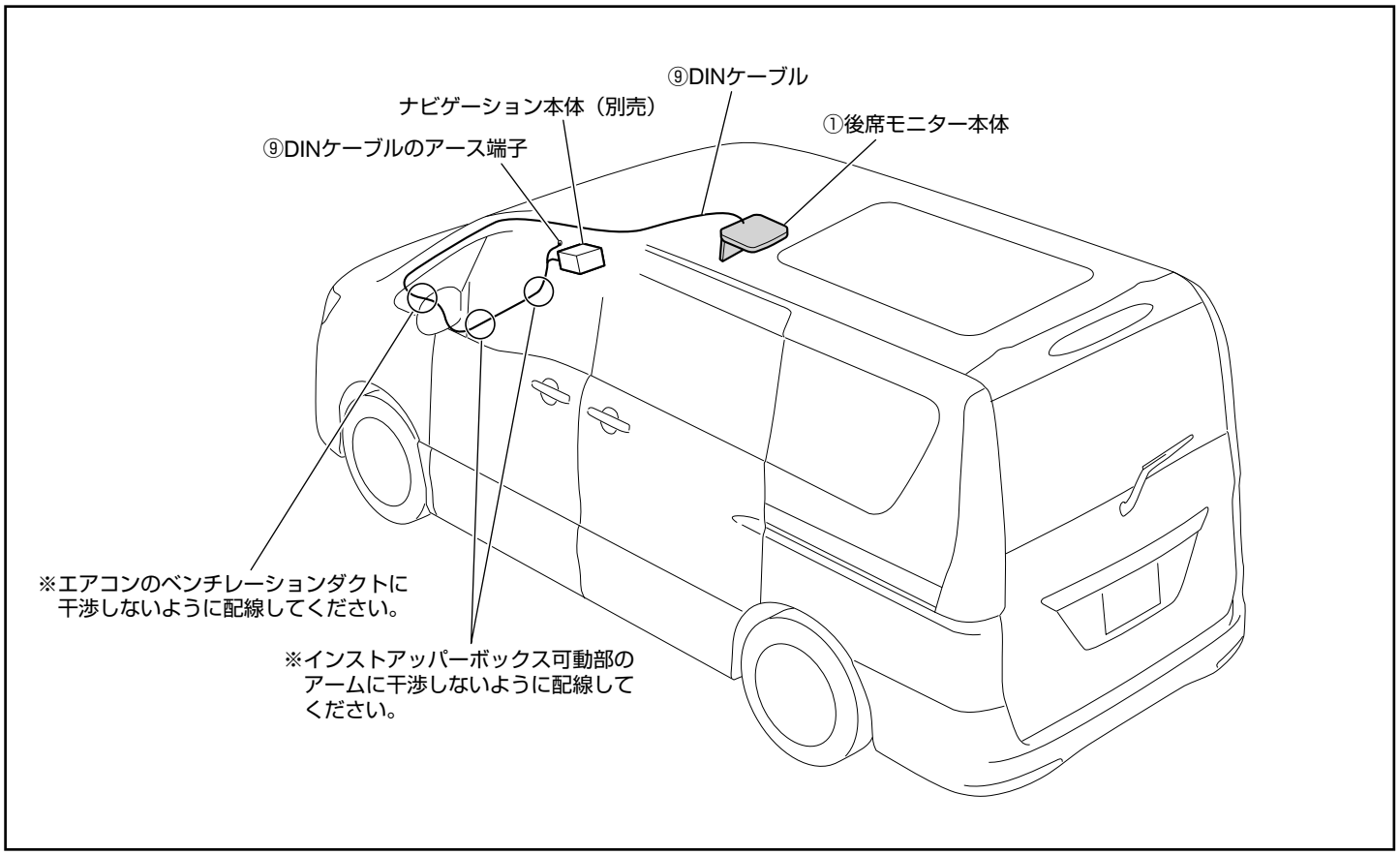
(4) ①後席モニター本体を⑬ブラケットAに固定します。ねじを締める順番は下図を参照してください。

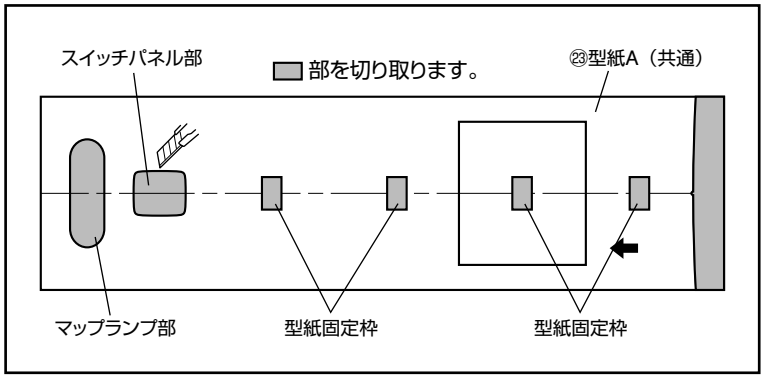
⚠注意	●電動ドライバーは絶対に使用しないでください。破損の原因となります。 ●ケーブル類を挟み込まないようにしてください。 ●ねじの締めすぎに注意してください。



(5) 結線図を参照してナビゲーション本体に接続します。

6 取付方法　パノラミックルーフの場合

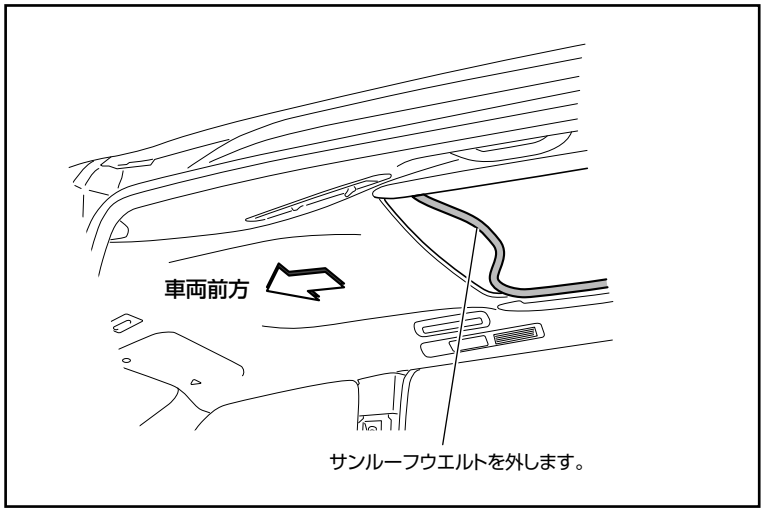




1. ヘッドライニングの加工

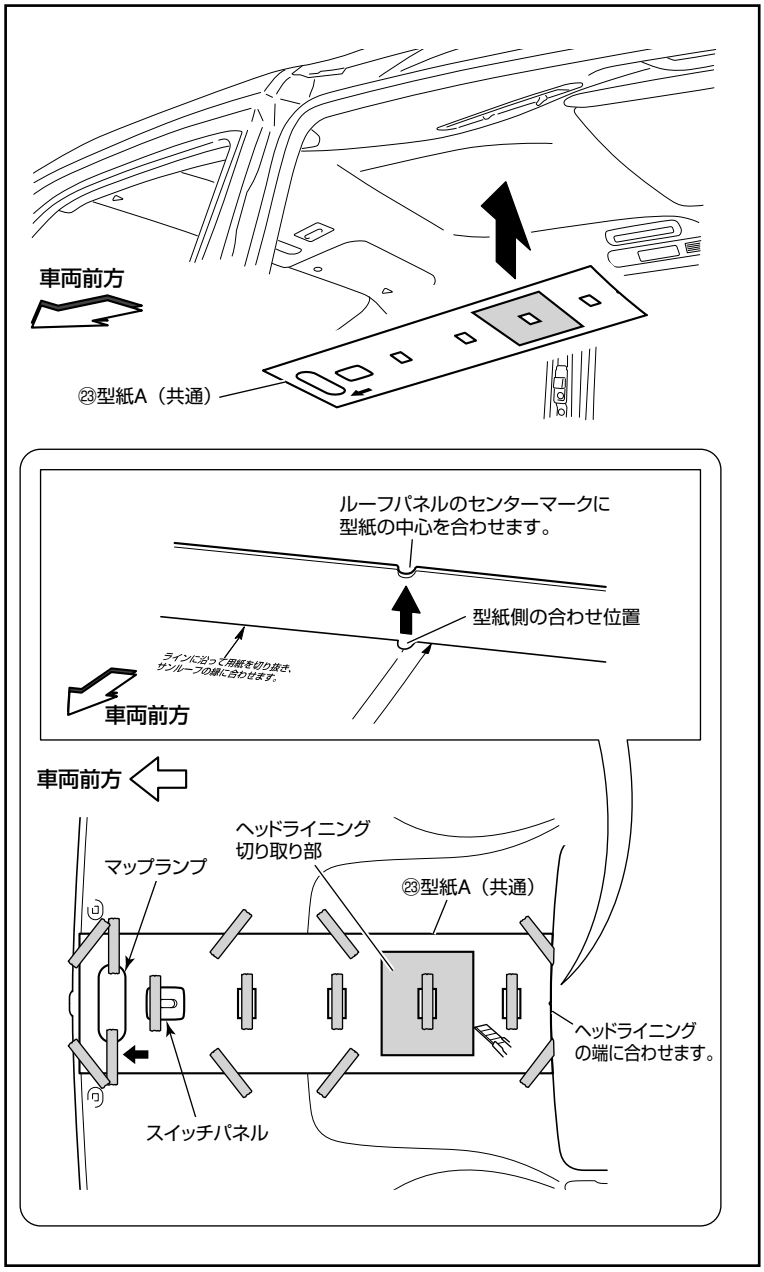
(1) ヘッドライニングへ貼り付ける前に、㉓型紙A（共通）の マップランプ部、 スイッチパネル部、 型紙固定枠を切り取ります。

⚠注意	保護手袋を着用し、刃物の取扱いに注意してください。



(2) サンルーフウエルトを外します。布粘着テープなどで㉓型紙A（共通）をヘッドライニングに貼り付けます。

⚠注意	●型紙の前後を間違えないようにしてください。 ●ルーフパネルのセンターマークとマップランプの位置がずれていると、後席モニター本体を取り付けた際、ヘッドライニングの加工穴が隠れなくなる場合がありますので、車両の中心がずれないよう注意してください。 ●布粘着テープ等の粘着力が高いと布粘着テープ等を剥がす際、ヘッドライニングが毛羽立ってしまう場合がありますので、注意してください。

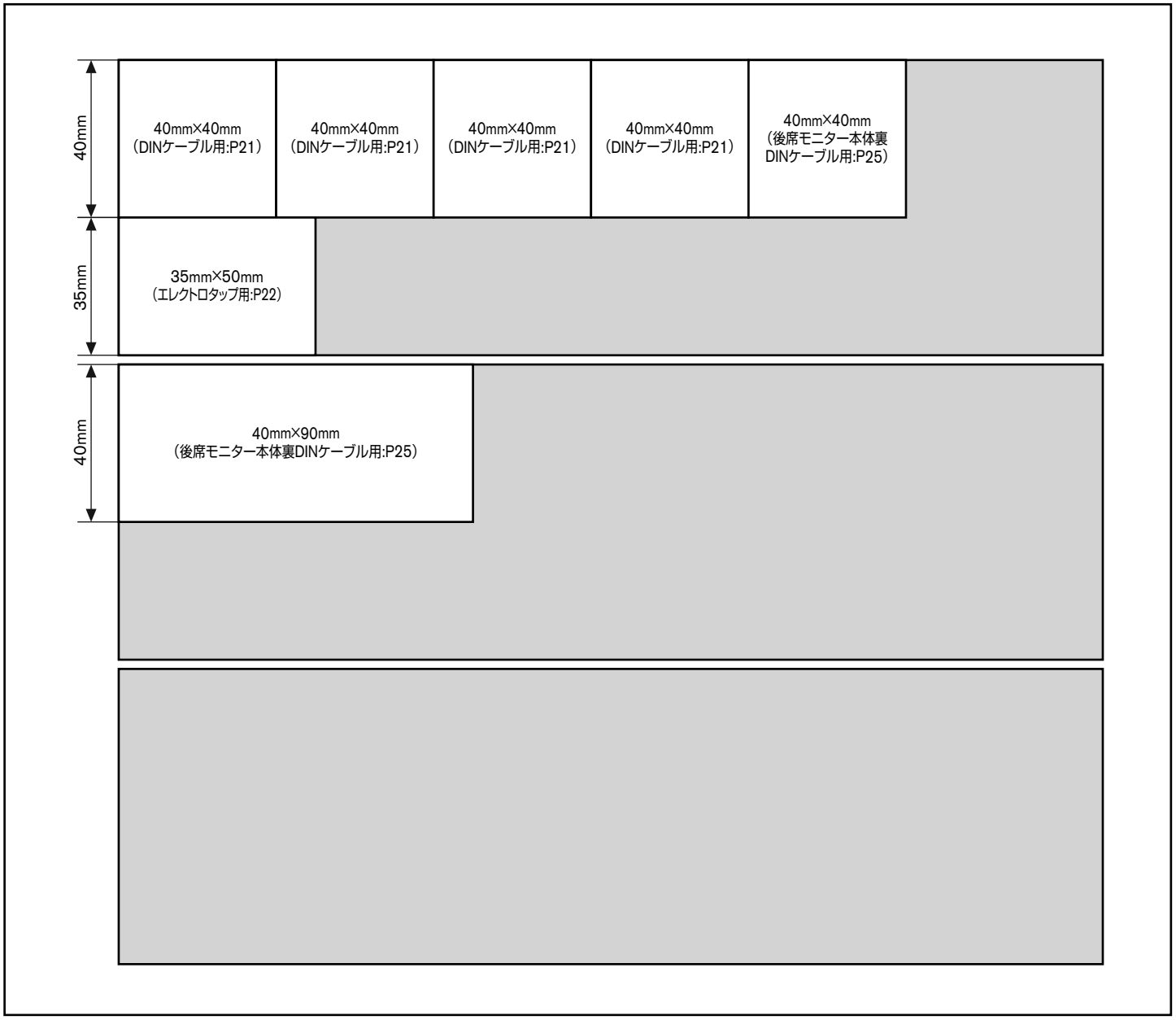


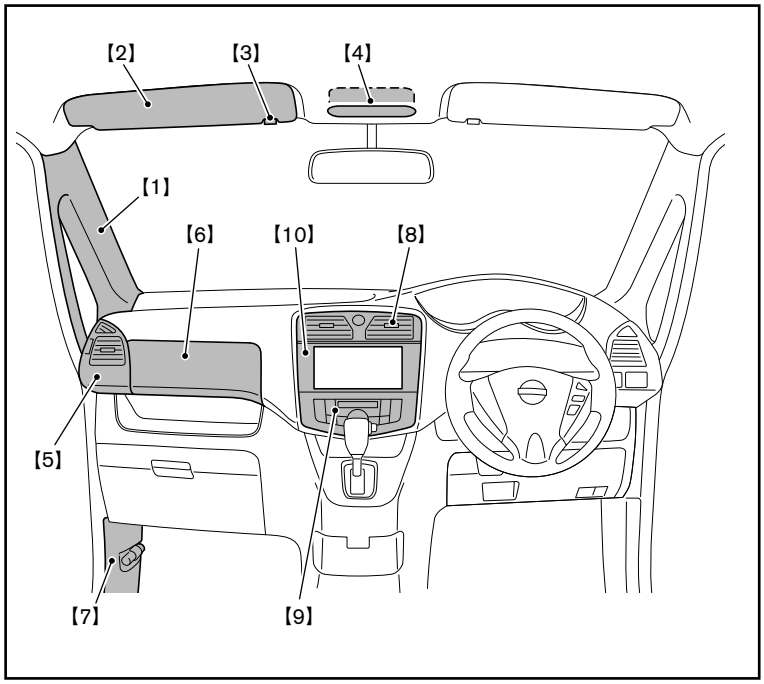
(3) 型紙の切り取り部にしたがって、■部分のヘッドライニングをカッターで切り取ります。

⚠注意	●保護手袋を着用し、刃物の取扱いに注意してください。 ●ヘッドライニング内の配線に傷をつけないよう注意してください。 ●カッターの刃を必要以上（約25mm）出さずに作業をおこなってください。 25mm以内

2. クッションテープ（75mm×250mm）のカット寸法

（1）⑳クッションテープ（75mm×250mm）を下図にしたがってをカットします。



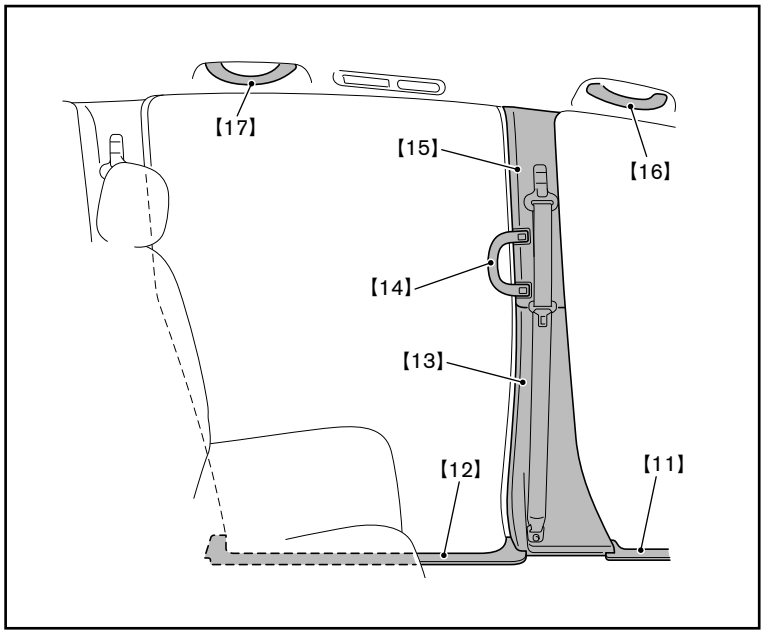


3. 車両部品の取り外し

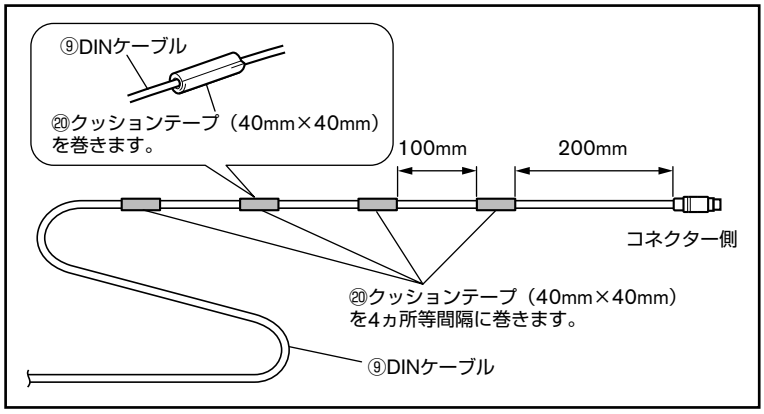
(1) 左図を参照して内装部品（　　部）を外します。
番号順に取り外してください。

⚠注意	●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。 ●ねじの紛失にご注意ください。

Memo	●各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。 ⑨DINケーブルを配線するため、助手席側のパネルを取り外してください。

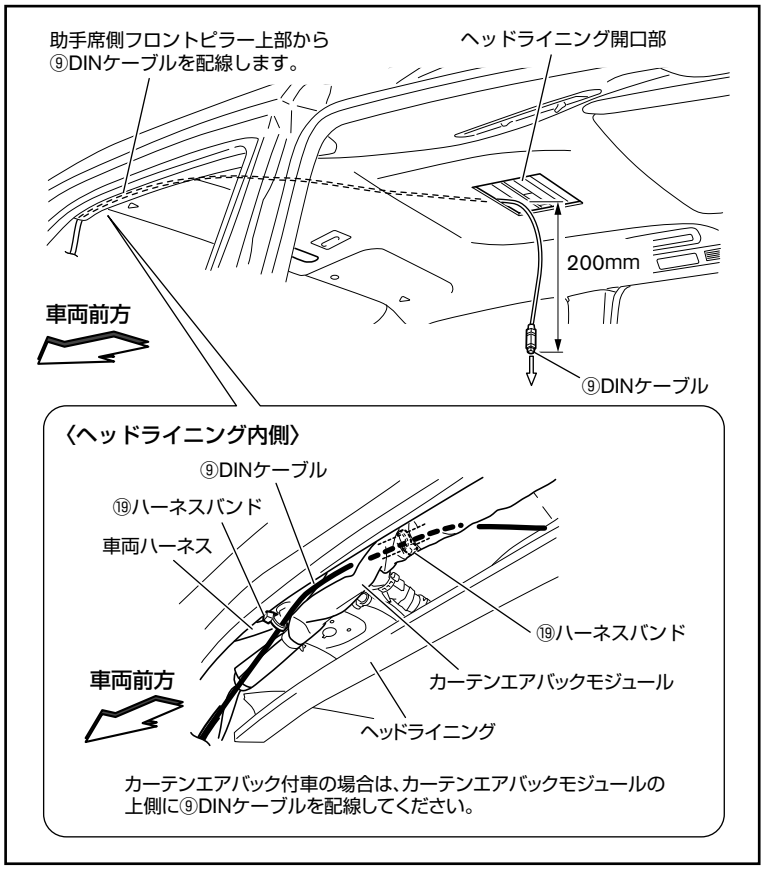


⚠注意	【15】センターピラーアッパーガーニッシュ上部のフックが破損した場合は、必ず新品を別途お買い求めのうえ、交換してください。 ・カーテンエアバック無車用 純正部品番号：**B8088-1VA01**（別売） ・カーテンエアバック付車用 純正部品番号：**B8088-1VA11**（別売）



4. DINケーブルの配線

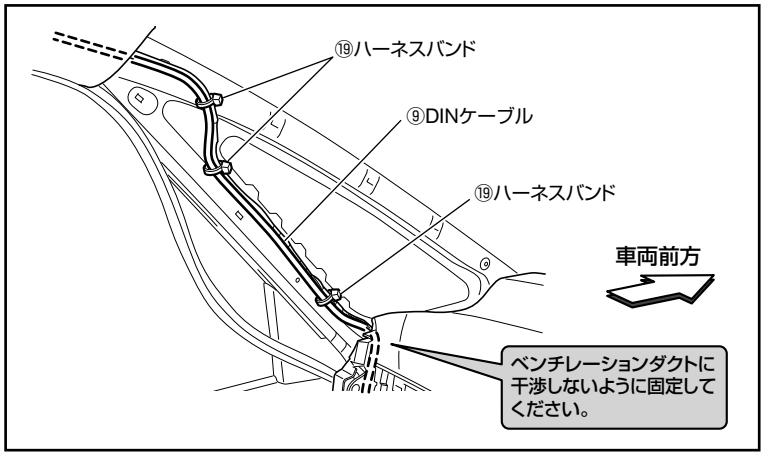
(1) 異音防止のため、⑨DINケーブルに⑳クッションテープ（40mm×40mm）を巻きます。



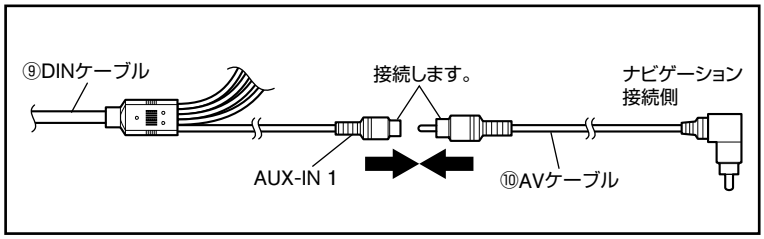
(2) 助手席側フロントピラー上部からヘッドライニングの裏へ通し、ヘッドライニングの開口部まで仮配線します。

⚠注意	●カーテンエアバック付車の場合は、必ずカーテンエアバックモジュールの上側に⑨DINケーブルを配線してください。 ●針金等を使用して配索する際、車両のハーネス、ホース類を損傷させないように注意してください。 ●ヘッドライニングの左側を下げながら、しわが出来ないように注意して作業を行ってください。

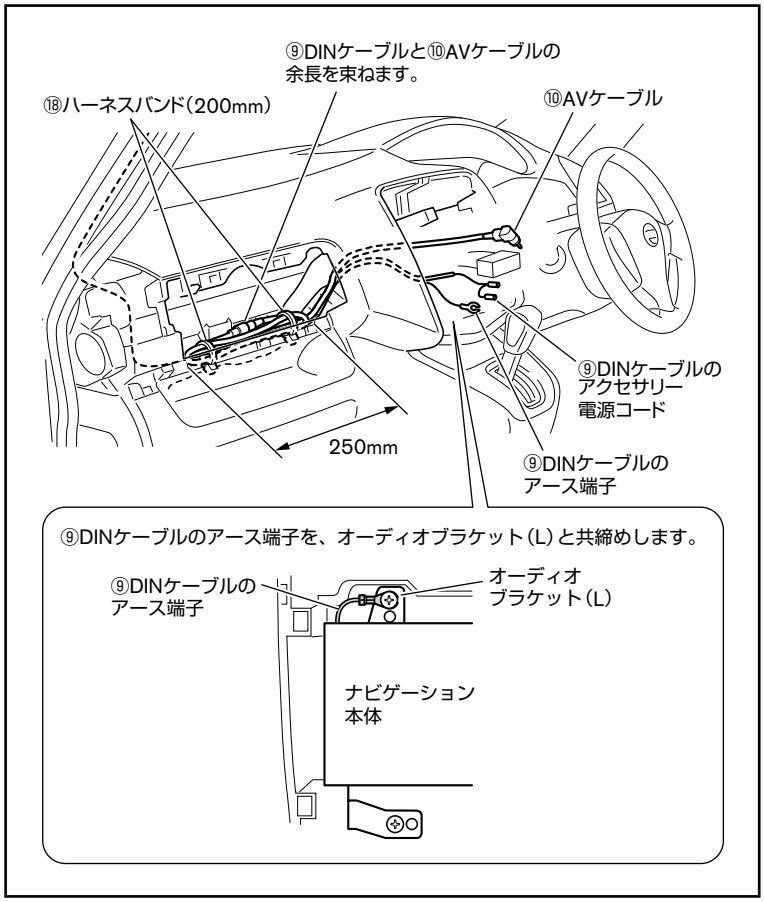
Memo	配線通しや針金などを使用して、助手席側フロントピラー上部からヘッドライニングの開口部へ⑨DINケーブルを引き出してください。



(3) 助手席側フロントピラーの車両ハーネスに⑨DINケーブルを⑲ハーネスバンドで固定し、フロントピラー下のすき間へ配線します。



(4) ⑨DINケーブルのAUX-IN 1と⑩AVケーブルを接続し、抜け防止のため絶縁テープを巻きます。



(5) ⑨DINケーブルと⑩AVケーブルを、グローブボックス裏の車両ハーネスに沿ってオーディオ取付部へ配線します。

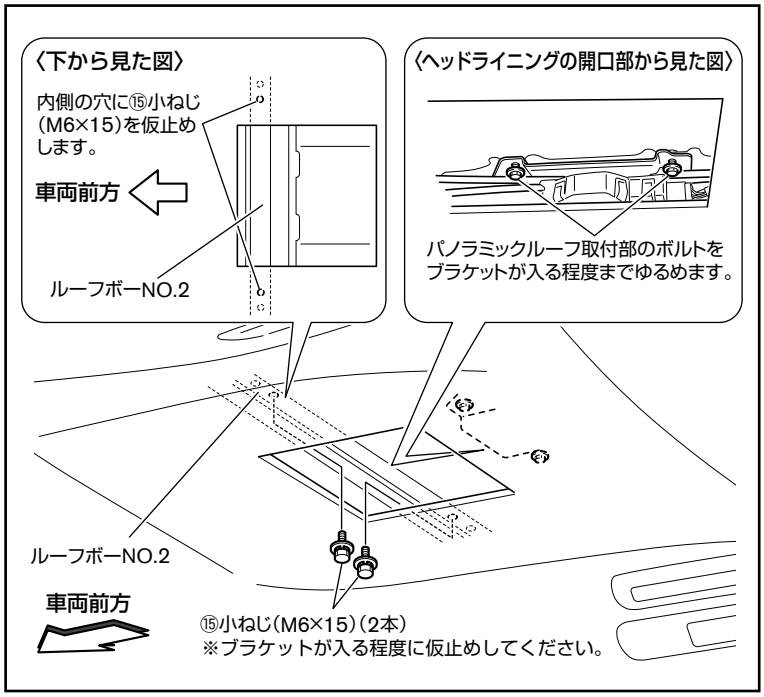
(6) ⑨DINケーブルと⑩AVケーブルの余長を図の位置に束ねて、車両ハーネスに⑱ハーネスバンド（200mm）で固定します。

⚠注意	インストアッパーボックスに干渉しない位置に固定してください。

(7) ⑨DINケーブルのアース端子を、ナビゲーション復元時にオーディオブラケット(L)と共締めします。

⚠注意	アース端子の配線をはさみ込まないよう注意してください。

Memo	●接続後、テスターにてバッテリーを外したまま導通を確認してください。 ●配線は接続するシステムによって異なります。詳細は各取扱説明書「システムアップ例」を参照して配線してください。 **【RSA10S-Lシリーズ】・・・P22** **【RSH10-Lシリーズ】・・・P19**

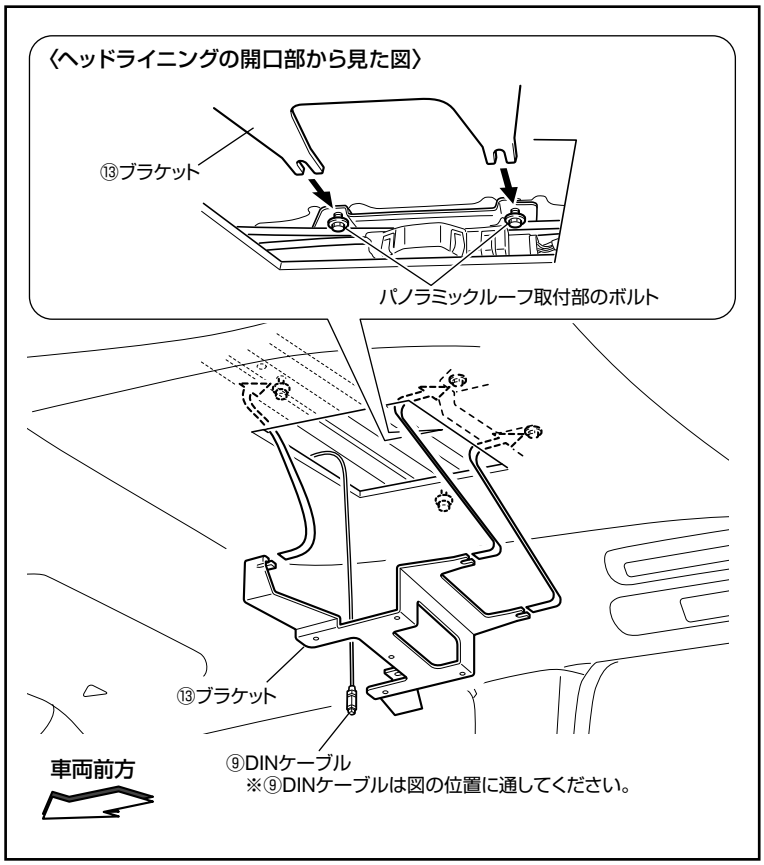


5. ブラケットの取り付け

(1) パノラミックルーフ取付部のボルト2本をゆるめます。

(2) ルーフボーNO.2の図の位置に⑮小ねじ(M6×15)を仮止めします。

⚠注意	ヘッドライニングにしわが出来ないように注意してください。

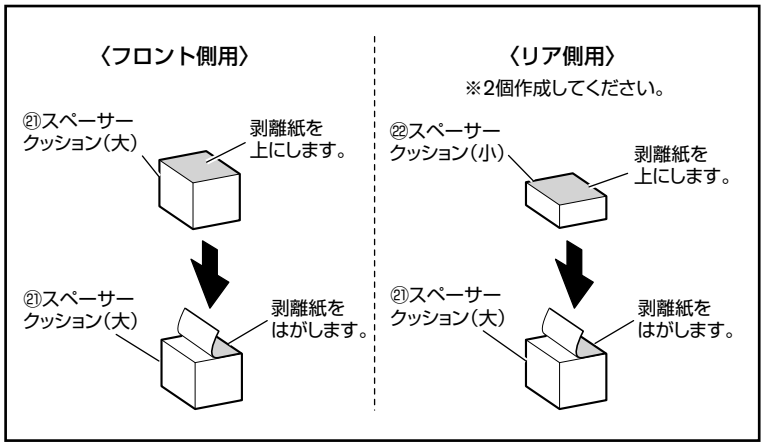


(3) ヘッドライニングの開口部に⑬ブラケットを差し込み、仮止めした⑮小ねじ(M6×15)とパノラミックルーフ取付部のボルトに引っかけます。

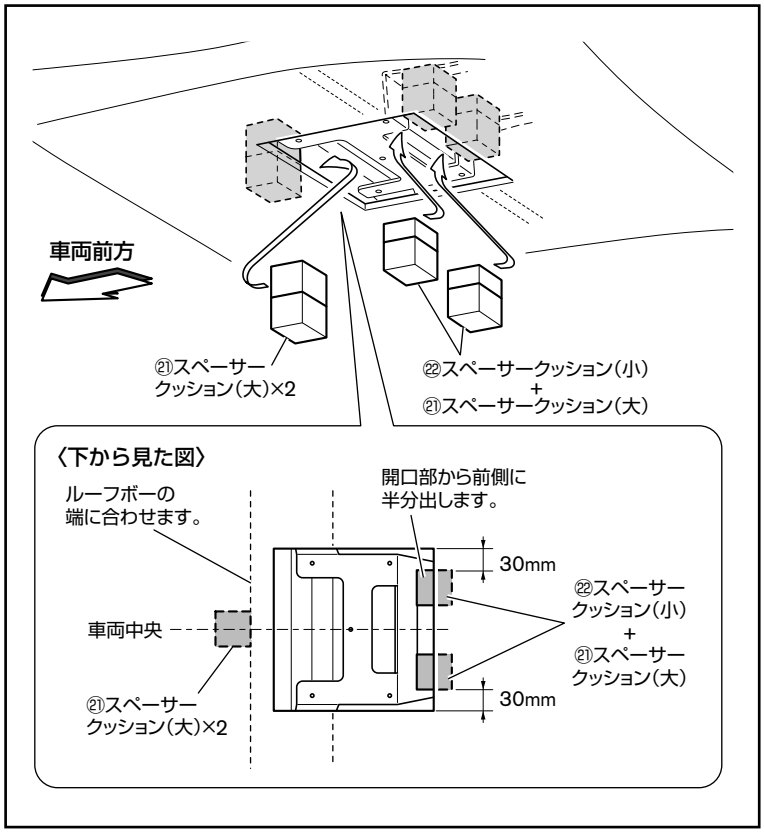
⚠注意	●⑬ブラケットを差し込む際は、ヘッドライニングにしわが出来ないように注意してください。 ●ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

(4) 仮止めした⑮小ねじ(M6×15)とパノラミックルーフ取付部のボルトを本締めします。

⚠注意	本締めする際、強く締めすぎるとルーフパネルが変形する恐れがあります。電動工具等を使用しないで、作業を行ってください。

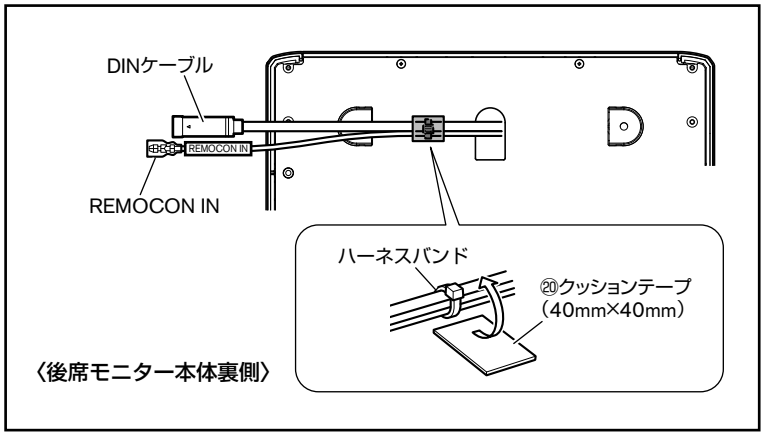


(5) ㉑スペーサークッション(大)と㉒スペーサークッション(小)を2段に重ねます。フロント側用とリア側用の2種類を作成してください。



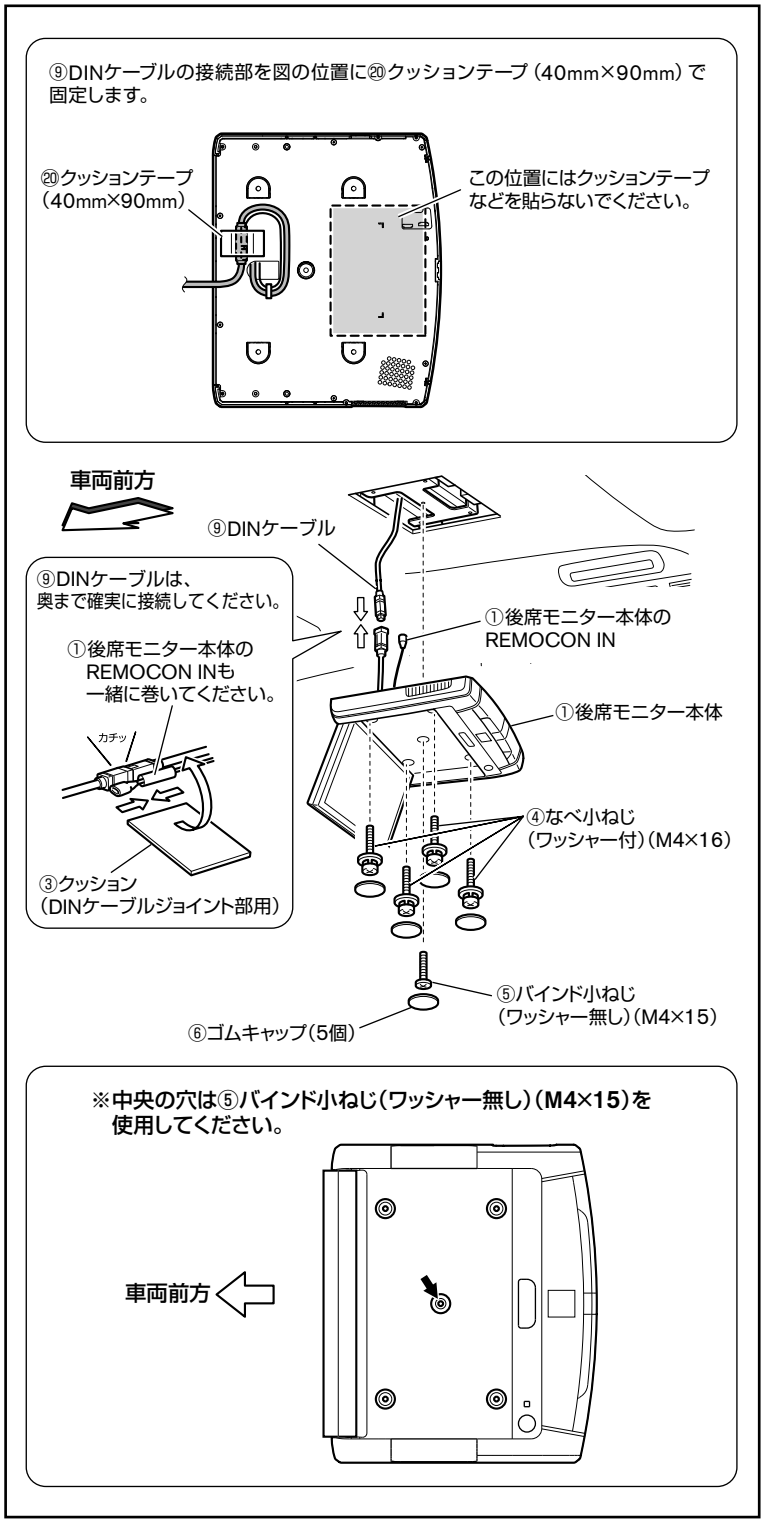
(6) ㉑スペーサークッション(大)と㉒スペーサークッション(小)の剥離紙をはがし、開口部からヘッドライニング内に差し込み、ルーフパネル側に貼り付けます。

⚠注意	ヘッドライニングにしわが出来ないように注意してください。



6. 後席モニター本体の取り付け

(1) ①後席モニター本体のコードを固定しているハーネスバンド部に⑳クッションテープ（40mm×40mm）を巻きます。



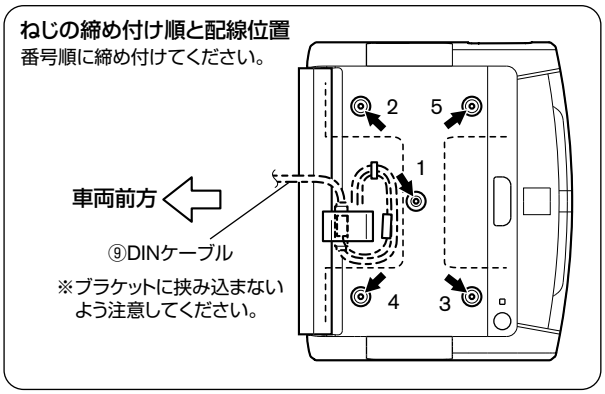
(2) ⑨DINケーブルを①後席モニター本体に接続し、接続部に③クッション（DINケーブルジョイント部用）を巻いて保護します。

⚠注意	①後席モニター本体のREMOCON INも一緒に巻いてください。

(3) ⑨DINケーブルの接続部を①後席モニター本体の裏側に⑳クッションテープ（40mm×90mm）で固定します。

(4) ①後席モニター本体を⑬ブラケットに固定します。ねじを締める順番は下図を参照してください。

⚠注意	●電動ドライバーは絶対に使用しないでください。破損の原因となります。 ●ケーブル類を挟み込まないようにしてください。 ●ねじの締めすぎに注意してください。



(5) 結線図を参照してナビゲーション本体に接続します。

7 取り付け後の注意事項

取り付けに際して外した車両部品は、元通り復元する。
締付トルク管理を必要とする作業は基準締付トルク値で締め付ける。
復元時は、ハーネスがかみ込まれないように復元する。

- 取り付け後の車両全体の点検は必ず行う。
- 各部品の締め付け忘れはないか確認する。
- 車両から取り外した部品の組み付け忘れはないか確認する。
- 車両電気部品の作動を確認する。
  時計、オーディオの調整とランプ、スイッチ、計器類が正常に作動していることを確認する。
  車両の整備要領書を参照し、必要に応じて車両電装部品の補正および初期設定を行ってください。

8 後席モニター本体の動作確認

(1) キー SW を ON ポジションにする。

(2) 後席モニター本体の OPEN ボタンを押し、モニター部を開く。
※モニターの電源が自動的に入らない場合は、後席モニター本体の電源ボタンを操作して、電源が入ることを確認してください。

(3) 組み合わせるナビゲーションを AV モード（テレビ等）にして、後席モニターに映像が映る事を確認する。
※組み合わせるナビゲーションにより、テレビの映像が映らない場合があります。詳しくは、ナビゲーションの取付要領書を参照してください。